

次世代取締機NHシステム対応

第二世代  
RANA VI  
SOLAR

# SKY-230DL

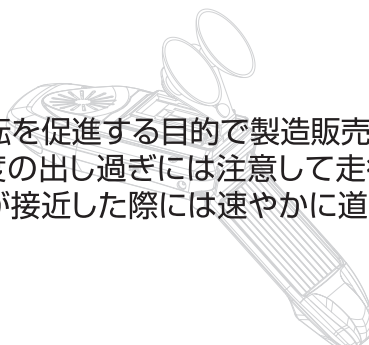
Digital Signal Receiver

*RANA VI catches correctly the equipment which supervises violation of the maximum speed limit in a GPS satellite.*

GPSアンテナ一体型角度可変ソーラーパネル採用  
デジタル・カーロケ・350.1MHz・GPS受信機内蔵

## 取扱説明書 ②

初めてお使いになる場合には、まず19、20ページを参考にしてください。



本機は、安全運転を促進する目的で製造販売されております。くれぐれも、速度の出し過ぎには注意して走行してください。また、緊急車両が接近した際には速やかに道をお譲り下さい。

このたびは、**CELLSTAR** シニギ **SKY-230DL**をお買上げ頂きまことにありがとうございます。ご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みになり、本機を正しくお使いください。尚お読みになられた後も、保証書と共に大切に保管してください。

# 目次




■ご使用の前に	必ずお読みください	1
	GPS測位について	2
	速度違反の取締方法	2
	Nシステムについて	4
	デジタル無線について	4
	カーロケーターについて	5
	350.1MHz無線について	5
	レーナビをご使用になる前に、必ずお読み下さい。	6
	本機の特長	7
	各部の名称と機能	12
■使ってみよう	取付方法	16
	使用方法	19
	内蔵バッテリーについて	21
	充電方法	22
■基本操作	電源の入れ方・切り方	24
	GPS機能を使うには	25
	レーダー波を受信するには	29
	D.S.C.機能を使用するには	30
	オートパワー機能	32
	カーロケーターを受信するには	33
	350.1MHz無線を受信するには	34
	デジタル無線を受信するには	35
	カーロケーターAI受信	36
	350.1MHz無線受信動作	37
	デジタル無線受信動作	37
■レーナビ動作	4ステップGPSボイス	38
	レーダーブザー	42
■Nシステム	Nシステム500m圏内GPSボイス機能を使うには	43
	Nシステムの検知設定方法	44
	レーナビの動作(Nシステム)	45
■便利機能	ユーザーメモリー機能	46
	GPSボイスポイント消去機能	48
	エリアカット機能	49
	1キロ圏内サーチ機能	50
	アラームミュート機能	51
	カーロケミュート機能	51
	アラームテスト機能	52
	本機の全リセット	53
■故障かな？ と思ったら	故障かな？と思ったら	54
	GPS測位操作について	57
■資料	GPS障害について	58
■アフターサービス について	アフターサービスについて	60
	データ更新について	60
	新設速度取締機、Nシステムの情報提供のお願い	61
	お問い合わせ窓口	61
■仕様・定格		
■付属品		

# ご使用の前に




## 必ずお読みください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明していきます。







■表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 <b>危険</b>	誤った取り扱いをすると「死亡または重傷などを負う可能性が切迫して想定される」内容です。
 <b>警告</b>	誤った取り扱いをすると「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
 <b>注意</b>	誤った取り扱いをすると「傷害を負う可能性または物的損害*の発生の可能性が想定される」内容です。 *物的損害とは、車両・家屋・家財等に関わる拡大損害を示します。






■お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

-  この表示は、必ず実行していただく「強制」の内容です。具体的な強制内容は、近くに文章で示します。
-  この表示は、してはいけない「禁止」の内容です。具体的な禁止内容は、近くに文章で示します。
-  この表示は、気をつけていただきたい「注意」の内容です。具体的な注意内容は、近くに文章で示します。








### 危険

-  本機はDC12V専用です。他の電圧での使用は故障の原因になりますので、絶対におやめください。
-  走行中に本機の操作をしないで下さい。  
※交通事故の原因となります。
-  医療用電気機器の近くでは使用しないで下さい。  
※ペースメーカーやその他の医療用電気機器に電波による影響を与える恐れがあります。
-  煙が出ている、変な臭いがあるなど異常な状態のままでは使用しないで下さい。  
※発火して火災の原因となります。
-  水をついたり、水をかけたり、又、ぬれた手で絶対に操作しないで下さい。  
※火災や感電、故障の原因となります。
-  万一、故障した場合は直ちに使用を中止して下さい。  
※そのまま使用しますと火災や感電の原因となります。

### 警告

-  運転や視界の妨げにならない場所、又は自動車の機能（ブレーキ、ハンドル等）の妨げにならない場所に取り付けてください。  
※誤った取り付けは交通事故の原因となります。
-  助手席エアバックの近くに取り付けたり配線したりしないで下さい。  
※万一エアバックが作動した時、本体が飛ばされ事故やケガの原因となります。また、配線が妨げとなりエアバックが正常に動作しないことがあります。
-  電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、加工したりしないで下さい。電源コードが傷ついた場合には直ちに使用を中止して下さい。  
※感電やショートによる発火の原因となります。
-  本機は精密機器です。分解や改造は絶対にしないで下さい。  
※発熱、火災、ケガの原因となります。
-  ぬれた手でシガープラグの抜き差しをしないで下さい。また、ぬれた状態のプラグを差し込むなどの行為もしないで下さい。  
※火災や感電、故障の原因となります。

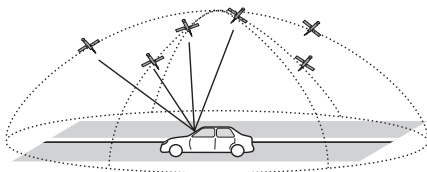
### 注意

-  穴や隙間にピンや針金を入れないでください。  
※感電や故障の原因となります。
-  本機は日本国内専用です。海外では使用しないで下さい。
-  夏の炎天下、真冬の駐車の際はできるだけ本機を取外してください。  
※性能の劣化、本体の変形をまねく原因となります。
-  一部車種のウィンドウに採用されている熱反射ガラスは、電波の透過率が低いため、レーダー波やGPS信号などの受信感度が低下する事があります。※熱反射ガラスの有無は、車両のディーラーやメーカーへお問い合わせ下さい。
-  一部のカーナビゲーションと同時に使用すると、本機が鳴り続ける場合があります。
-  周囲の環境、気象条件により、GPS信号を受信しにくい、または受信できない場合があります。
-  本機を取付けている、いないの状態にかかわらず、走行中の速度違反に関して、弊社では一切の責任を負いかねます。

## GPS測位について

### GPS (Global Positioning System)

GPSとは地球の衛星軌道上にある24個のGPS専用の人工衛星からの信号を利用し位置情報を算出するシステムです。(GPS測位)この人工衛星は米国国防総省によって管理されており、不定期にGPS測位の精度が高くなったり、低くなったりします。また、衛星の配置も制御されていますので日によって衛星の配置が悪く、測位確定まで時間がかかってしまう場合もあります。



## 速度違反の取締方法

### 1. 追尾方式<移動式(有人取締り)>

取締り用車両に、スピードメーターの指針を固定できる取締用スピードメーターを搭載し、対象の車を追走して速度を測定する方式です。

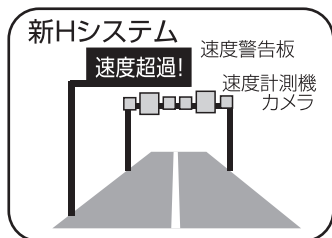
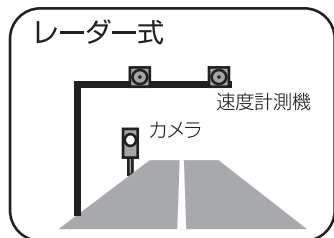
※カーロケータシステムは、全ての緊急車両に搭載されているわけではありません。

※カーロケータシステムは常に車両から電波を出しているわけではありません。

その為、緊急車両の接近があっても本機で受信できない場合があります。

### 2. レーダー波(マイクロ波)を使用する方式<固定式(無人取締り)>

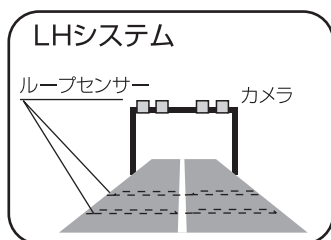
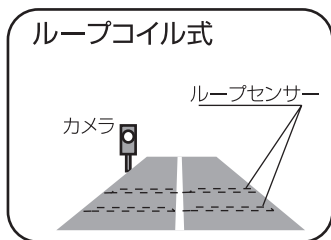
レーダーにはレーダー波(マイクロ波)と呼ばれる周波数の高い電波が使用されます。電波は周波数が高くなるほど直進性が増して指向性が強くなります。このような、電波は動く物体に反射すると、その周波数を変化させるという特性があり、それをドップラー効果と呼びます。このドップラー効果を利用して走行速度を測定します。



新Hシステムはレーダー波と異なった種類の電波を使用しているため、レーダーブザー開始距離が短くなることがあります。このシステムでは事前に「速度超過」などと速度警告板に表示されます。その警告を無視した違反車両をカメラでデジタル撮影します。

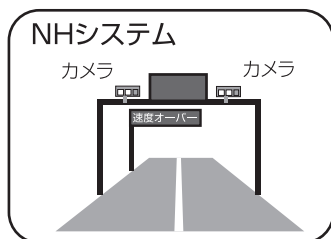
### 3.計測センサーを使用する方式<固定式(無人取締り)>

車が一定区間を通過する時間を測定し、その車の走行速度を算出します。  
使用されるセンサーにはループセンサーなどがあります。



### 4.次世代取締機「NHシステム」<固定式(無人取締り)>

通行車両をデジタルカメラで撮影しその写真画像のブレ等から走行速度を算出する事で速度違反車両を特定します。平成15年3月現在のこのシステムはNシステムとは異なった目的での車両識別用監視カメラとして稼働していますが、将来的に速度取締りを行う可能性があります。



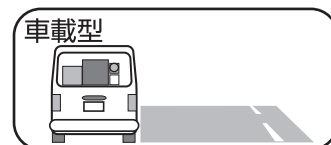
### 5.レーダー波(マイクロ波)を使用する方式<移動式(有人取締り)>

レーダー波(マイクロ波)を走行車両に当て、走行速度を計測し、その車両が速度違反の場合には、車両を停止させ検挙します。

ステルス型の場合、レーダー波(マイクロ波)の放射時間が短いため、従来型レーダー探知機では瞬間的に「ピッ」としかレーダーブザーが出ません。しかし、ステルス対応型の探知機では専用アラームを使用し、ステルス型取締りに対してお知らせします。



ワンボックス車等に速度取締機を積載し、路肩などに駐車して取締りを行います。



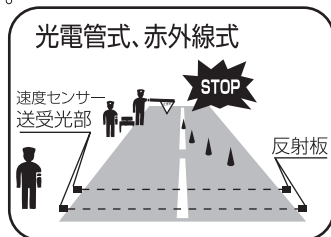
次ページへつづく

速度違反の取締方法(つづき)

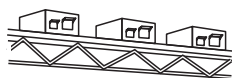
## 6.計測センサーを使用する方式<移動式(有人取締り)>

車が一定区間を通過する時間を測定し、その車の走行速度を算出します。使用されるセンサーには光電管式、赤外線式などがあります。

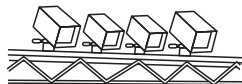
有人取締りで、計測センサーを使用している場合レーダー波を使用せず、また取締りポイントも固定されていない為、事前にお知らせする事ができません。



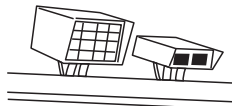
### Nシステムについて



旧型



現行型



最新型

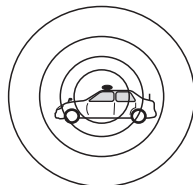
N-System (Nシステム)とは

「盗難車両の発見・自動車を使用した重要事件における犯人検挙のために利用」する自動車ナンバー読み取り装置。強力赤外線ストロボと高解像度デジタルカメラで車両ナンバーを撮影、その映像をコンピュータで処理し、警察の中央コンピュータに伝送。その伝送されたデータとホストコンピュータのデータとを照合させ、手配中の車両かどうかを確認するシステムです。

### デジタル無線について

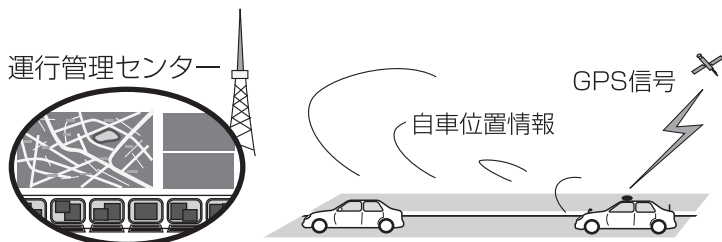
VHF159MHz帯～160MHz帯の約50チャンネルで、主に緊急車両で連絡用に使用される、約50チャンネルを受信し、お知らせします。

デジタル無線では音声を聞く事は出来ません。



※デジタル無線は常に使用されているわけではありません。本機での受信は、無線が使用され、電波が出ている場合に限りです。

## カーロケーターについて

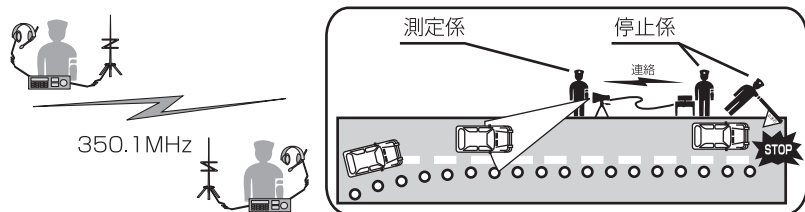


カーロケーターシステム（無線自動車動態表示システム）とは、緊急車両などに搭載され、GPS信号による自車位置情報を割り出して運行管理センターなどに送信するシステムです。このシステムを利用する事により緊急時などにおいて効率の良い運行管理を行う事が出来ます。

この車両から送信されている電波を受信する事で、緊急車両などの接近を事前を知る事が出来ます。緊急車両が接近した場合には速やかに道をお譲り下さい。

- ※カーロケーターシステムは全ての緊急車両に搭載されているわけではありません。
- 本機での受信はカーロケーターシステムが搭載され、その電波が受信可能な場合に限られます。
- ※カーロケーターシステムは常に車両から電波を出しているわけではありません。
- その為、緊急車両の接近があっても本機で受信できない場合があります。

## 350.1MHz無線について



速度取締現場で、測定係と停止係の間で使用されている無線の周波数が350.1MHzです。この周波数を受信し、交信内容を聞く事が出来ます。

また、速度取締りだけでなく、シートベルトの着用取締りなどでも使用されている場合もあります。

- ※350.1MHz無線の受信は、電波の状態等によって受信状態が変わります。
- ※350.1MHz無線の受信で、デジタル交信の場合は、音声聞く事は出来ません。
- ※350.1MHz無線は常に取締りに使用されているわけではありません。本機での受信は、無線が使用され、電波が出ている場合に限りです。

## レーナビをご使用になる前に、必ずお読み下さい。

- ※本機を取り付けているいないに関わらず、速度違反に関して弊社では一切の責任を負いかねます。日頃からの安全運転を心がけて下さい。
- ※GPS信号を正常に受信している場合であっても、本機各設定内容によって、速度取締機への接近をお知らせ出来ない場合があります。その場合でも、弊社としては一切の責任を負いかねます。
- ※本機は、GPS信号を受信する事で、NHシステム、LHシステムやループコイルなどに対してGPSボイスでお知らせしますので、GPS信号を受信していない状態では、これらの取締機に対してGPSボイスを出す事が出来ません。
- ※本機は、NHシステム、LHシステムやループコイルなどの設置型取締機に対して本機内部に登録されている取締機データに基づいてGPSボイスでお知らせしますので、登録されていない取締機に対してGPSボイスでお知らせする事は出来ません。
- ※ステルス型速度取締りが行われている場合、レーダー波を一瞬しか発射しないという特性上、事前にレーダーブザーを出す事が出来ない場合があります。ステルスアラームが鳴った場合、すでに速度計測されている事がありますのでご注意ください。
- ※光電管を使用した有人式の速度取締りが行われている場合、その取締りに対してGPSボイス、レーダーブザーを出す事が出来ません。あらかじめご了承下さい。
- ※大型車の後方を走行する場合やカーブのきつい道路を走行する場合、取締りレーダー波を受信しにくい状態になる場合があります。特にGPS信号を受信できない状態での走行時にはご注意ください。
- ※緊急車両と並走または縦走していても、カーロケーターシステムが搭載されていない車両では、カーロケーターを受信出来ません。また、搭載されていても常時電波を発信しておりませんので、このような場合には緊急車両の接近をお知らせする事が出来ません。
- ※デジタル無線、350.1MHz無線の受信は、電波の状態等によって受信状態が変わります。
- ※デジタル無線、350.1MHz無線は常に取締りに使用されているわけではありません。本機での受信は、デジタル無線、350.1MHz無線が使用され、電波が出ている場合に限りです。
- ※350.1MHz無線の受信で、デジタル交信の場合は、音声を聞く事は出来ません。
- ※一部車種のウィンドウに採用されている熱反射ガラスは、電波の透過率が低いためレーダー波やGPS信号、カーロケーター、デジタル無線、350.1MHz無線の受信感度が低下する恐れがあります。  
\*熱反射ガラス使用の有無は車両のディーラーやメーカーへお問い合わせ下さい。
- ※本機は日本国内専用です。海外では使用しないで下さい。




**本機の特長**

使用感の向上

GPS機能

内蔵された  
受信機と機能ミュート&  
キャンセル便利機能  
充電機能

## ■GPSアンテナ一体型角度可変ソーラーパネル採用

ソーラーパネル部にGPSアンテナを内蔵する事で、角度可変ソーラーパネルの搭載をGPSレーダーで実現。取付け場所の自由度が格段に向上しました。

## ■ボイスガイド機能

各種設定時、各種記録/消去時にボイスによって「〇〇〇を設定しました。」「×××を記録しました。」と、操作内容等をアナウンスします。

## ■フラッシュモニター採用

フルカラーLED採用により、LHシステム、ループコイル式取締機や、デジタル無線、カーロケーター、350.1MHz無線の受信時に点滅してお知らせします。また、各種設定時には、ボイスガイドとフラッシュモニターの点灯色変化により設定内容が確認できます。

使用感の向上

GPS機能

内蔵された  
受信機と機能ミュート&  
キャンセル便利機能  
充電機能

## ■次世代取締機NHシステム対応

車両識別カメラを利用した新しい取締方法「NHシステム」にいち早く対応。今後増加すると思われるこのシステムもGPSで識別し、GPSボイスでお知らせします。

## ■約2キロ手前からの4ステップGPSボイス

高速道では、取締機の最大2キロ、約1キロ、約500m、約200m手前での4ステップGPSボイスでお知らせします。一般道では最大1キロ手前からの3ステップGPSボイスとなります。また新Hシステムやレーダー式オービスの場合はレーダーブザーとGPSボイスの複合でお知らせします。

### ●カメラ位置ボイス

取締機の手前約200mでは、「カメラは右側です。」などカメラ位置を右側、左側、正面と3パターンのGPSボイスでお知らせします。

### ●取締機識別、設置道路識別ボイス&専用ランプ(GPSボイス)

NHシステム、LHシステム、ループコイル、新Hシステム、オービスなどの取締機種別、その設置道路の種類(高速道/一般道)を識別しボイスと専用ランプでお知らせします。

## ■ベーシックモード&フルモード切替可能

LHシステムやループコイルなどのループ系をGPSボイスで、新Hシステムやオービスをレーダーブザーで行うベーシックモードと、全ての取締機に対してGPSボイス+レーダーブザーで行うフルモードを搭載し、任意に切替えてお使いいただけます。

次ページへつづく

## 本機の特長(つづき)

使用感の向上	GPS機能	内蔵された受信機と機能	ミュート&キャンセル	便利機能 充電機能
	<p><b>■速度取締機登録件数 約 650箇所</b>(上下線識別) ※1</p> <p><b>■Nシステム登録件数 約1550箇所</b>(上下線識別) ※1 ※2</p> <p>※1: 本機に登録されているデータは2003年2月作成のデータです。            ※2: DCコード使用時(DC12V入力時)のみお知らせします。</p>			
	<p><b>■GPSボイス対象道路選択機能</b>            GPSによるお知らせを「Hi(高速道路)/Ci(一般道路)/All(全て)」の3種類から設定することが出来ます。</p>			
	<p><b>■GPS回避ボイス</b>            4ステップGPSボイス中、お車の進行方向が取締機設置方向から外れた場合、「取締機を回避しました」とGPS回避ボイスでお知らせします。</p>			
	<p><b>■トンネル出口速度取締機対応</b>            トンネルの出口付近に設置されている取締機に対して、GPSボイスによりトンネルの入口手前でお知らせします。</p>			
	<p><b>■Nシステム500m圏内GPSボイス機能</b>(DCコード使用時のみ機能します。)            「500m以内Nシステムに注意してください。」というボイスと同時に、N専用ランプと道路識別のランプが点滅し、お知らせします。</p>			
	<p><b>■ユーザーメモリー機能 最大30箇所記録可能</b>            最大で30箇所のポイントを記録することが出来ます。記録ポイントの半径最大1キロの圏内に入ると、お知らせします。</p>			
	<p><b>■1キロ圏内サーチ機能</b>            現在地から半径約1キロ以内で取締機、ユーザーメモリーポイントの有無を検索する事が可能です。</p>			
	<p><b>■エリアカット機能</b>            取締機へのGPSボイス、NシステムGPSボイスの不要な半径約10キロの範囲を、1箇所設定することが出来ます。</p>			
	<p><b>■GPSボイスポイント消去機能</b>            GPSボイスの不要なポイントを設定する事で、GPSボイスを自動的にキャンセルする事が出来ます。</p>			
	<p><b>■GPS機能ON/OFF設定機能</b>            GPS信号を利用した各機能が不要な場合、任意でその機能をON/OFFする事が出来ます。(レーダー波受信のお知らせは、常に動作します。)</p>			

使用感の向上	<b>GPS機能</b>	内蔵された 受信機と機能	ミュート& キャンセル	便利機能 充電機能
--------	--------------	-----------------	----------------	--------------

**■データ更新可能**  
本機に登録されている取締機のデータを、最新のデータに更新することができます。(更新料¥5,000と、消費税、送料が別途かかります。)

使用感の向上	GPS機能	<b>内蔵された 受信機と機能</b>	ミュート& キャンセル	便利機能 充電機能
--------	-------	-------------------------	----------------	--------------

**■デジタル無線、カーロケーター、350.1MHz&Xバンド、Kバンド、Nシステムの受信機フル搭載**  
無線の周波数帯を3種類、取締機使用周波数を2種類、合計5つの周波数帯と赤外線が受信可能です。

- デジタル無線受信機搭載**  
デジタル無線の中でも緊急車両で使用される連絡波(約50チャンネル)を受信します。(デジタル信号の為、会話を聞く事は出来ません。)
- デジタル無線3倍速サーチ機能**(通常サーチ/3倍速サーチ切替機能付き)  
デジタル無線の約50チャンネルのサーチ時間を3分の1に短縮。短時間での交信をより確実にキャッチします。
- カーロケーターAI(人工知能)機能**  
カーロケーター受信時、緊急車両が近づいているのか、遠ざかっているのかをレーナビ自身が考え、緊急車両の通行を妨げないようにその結果をお知らせします。
- カーロケーター受信感度2段階切替機能**  
カーロケーターの受信感度を2段階に切替える事が出来ます。「Hi」で半径約1キロ、「Lo」で半径約500mでの受信感度となります。
- 350.1MHz無線生会話受信機能**  
取締りの現場で使用されている無線(350.1MHz)を受信し、取締り現場の生会話を聞く事ができます。

**■レーダー感度3段階切替え機能**  
レーダー波の受信感度を「エクストラ/ウルトラ/スーパー」の3段階で切替える事が出来ます。

**■ステルス専用アラーム装備**  
短時間で強いレーダー波を受信すると、それをステルス型取締りとして識別し、「ステルスを受信しました。」それに続く専用ブザー音でお知らせします。

次ページへつづく

## 本機の特長(つづき)

使用感の向上	GPS機能	内蔵された受信機と機能	ミュート&キャンセル	便利機能 充電機能
<p><b>レーダー波自動距離測定回路内蔵</b> 取締機までの距離を自動的に判断し、ウォーニングランプ、ブザー音の変化によりお知らせします。</p> <p><b>スーパーNモード搭載</b> 取締機とよく似た、自動車ナンバー読み取り装置の「Nシステム」を独立して検知。“専用ブザー音”に続いて「Nシステムを検知しました。」とお知らせします。</p> <p>●<b>Nシステム検知ON/OFF切替え機能</b> Nシステムの検知を任意にON/OFFすることが出来ます。</p> <p>●<b>Nシステム検知感度切替え機能</b> Nシステムの検知感度を「Hi/Lo」の2段階で切替えることが出来ます。</p>				

使用感の向上	GPS機能	内蔵された受信機と機能	ミュート&キャンセル	便利機能 充電機能
<p><b>新開発D.S.C. (Dynamic Speed Canceller)搭載</b> DCコード使用時にはGPS信号を利用したL.S.C. (ロースピードキャンセラー)と振動検知によるM.S.C. (ムービングスピードキャンセラー)を融合させた、D.S.C.で、不要なレーダーブザーを確実にミュート(消音)します。コードレスでの使用時には、M.S.C.でのキャンセルとなります。</p> <p><b>GPSボイスオートキャンセル機能</b> 4ステップ(一般道は3ステップ)GPSボイスが始まってから一定時間が過ぎても、登録(記録)ポイントを通過しない場合には低速走行または停止中と判断して、「ブーン、解除しました。注意してください。」とアナウンスして自動的にGPSボイスをキャンセルします。</p> <p><b>タイムディマー機能(GPS機能使用時)</b> 4月~10月は18:00~05:00までの間、11月~3月は17:00~06:00までの間、各種ランプの光量を抑えます。</p> <p><b>オートディマー&amp;オートミュート機能</b> レーダー波を受けてから約30秒後(ステルス波は約10秒後)などに、各種ランプの光量とブザー音の音量を抑えます。</p> <p><b>アラームミュート機能</b> お知らせ中のブザー音がわずらわしいとき、そのブザー音をミュート(消音)する事ができます。</p>				

使用感の向上	GPS機能	内蔵された 受信機と機能	ミュート& キャンセル	便利機能 充電機能
--------	-------	-----------------	----------------	--------------

■ **カーロケミュート機能**  
緊急車両と並走しているなど、連続的にカーロケーター電波を受信してしまう場合、任意にカーロケボイスをミュート（消音）する事が出来ます。

使用感の向上	GPS機能	内蔵された 受信機と機能	ミュート& キャンセル	便利機能 充電機能
--------	-------	-----------------	----------------	--------------

■ **オートパワー機能**  
内蔵のムービングセンサーを利用して、約3分以上の無振動状態を検知し、電源を自動的に切ります。また再度、振動を検知すると自動的に電源が入ります。

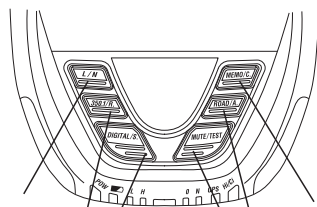
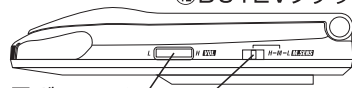
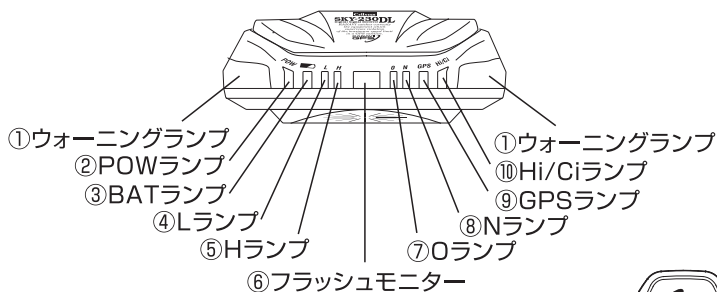
■ **アラームテスト機能**  
本機で使用しているボイス、レーダーブザーと各種ランプのテストを行う事ができます。

■ **内蔵バッテリー電圧表示／アラーム機能**  
内蔵バッテリーの残量を「BATランプ」で表示します。また、コードレスで使用ができなくなった時には、ボイスで充電を促します。

■ **DC12V入力モニタリング機能**  
DCコード使用時、DC12Vが入力されているかどうか監視して内蔵「BATランプ」で表示します。

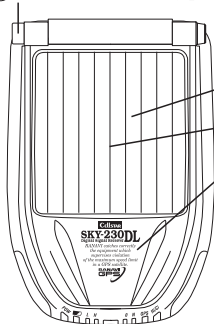
■ **マイコン制御充電機能**  
内蔵バッテリーの、DCコード使用時の充電は、マイコン制御による新方式で充電電流を制御。従来方式に比べ約30%の充電時間短縮を実現しました。

各部の名称と機能



- ⑮L/Nスイッチ  
⑯MEMO/Cスイッチ  
⑰DIGITAL/Sスイッチ  
⑱ROAD/Aスイッチ  
⑳MUTE/TESTスイッチ

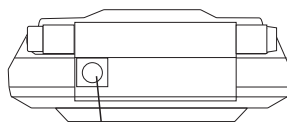
①ソーラーパネル角度固定ネジ



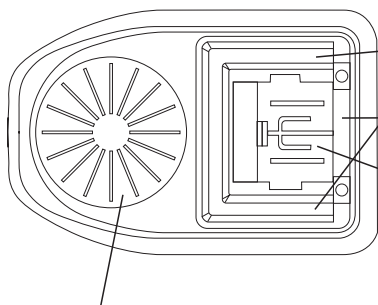
②ソーラーパネル

③レーダーアンテナ (内蔵)

④GPSアンテナ (内蔵)



⑤Nシステム検知部



⑥スピーカー (内蔵)

⑦サンバイザークリップ取付部

⑧ウインドウ取付金具取付部

⑨マウントベース取付部

次ページへつづく

## 各部の名称と機能(つづき)

### ①ウォーニングランプ

レーダーブザー時、レーダー波の強さに応じて点滅の速さが変わります。

### ②POWランプ

電源「ON」で点滅し、内蔵ムービングセンサーの振動検知状態を表示します。

### ③BATランプ

内蔵バッテリーの電圧状態を表示します。DCコードの接続があるときはDC12V入力中を表示します。

### ④Lランプ

ループコイル式、LHシステム、ユーザーメモリーのGPSボイス時、エリアカット圏内走行中に点滅します。

### ⑤Hランプ

新Hシステム、LHシステム、NHシステム、ユーザーメモリーのGPSボイス時、エリアカット圏内走行中に点滅します。

### ⑥フラッシュモニター

LHシステム、ループコイルに対するGPSボイス時、カーロケーター、350.1MHz無線、デジタル無線を受信した時に点滅します。また、各種設定操作時に点滅色を変化させて設定内容を表示します。

### ⑦Oランプ

レーダー式オービス、ユーザーメモリーのGPSボイス時、エリアカット圏内走行中に点滅します。

### ⑧Nランプ

GPSボイス時・検知時に点滅します。  
また、NHシステム、ユーザーメモリーのGPSボイス時、エリアカット圏内走行中に点滅します。

### ⑨GPSランプ

GPS信号の受信状態を表示します。

### ⑩Hi/Ciランプ

GPSボイスの対象道路を表示します。また、GPS機能の「ON」「OFF」も表示します。

### ⑪POWスイッチ

電源の「ON」「OFF」を行います。

### ⑫DC12Vソケット

DCコードを接続し、DC12Vを本機に入力します。

### ⑬音量ボリューム

GPSボイス、レーダーブザーなどの音量を調整します。

### ⑭M.SENSスイッチ

内蔵ムービングセンサーの感度を調整します。

### ⑮L/Nスイッチ

カーロケーター、Nシステム関連の設定時に操作します。

### ⑯350.1/Rスイッチ

350.1MHz、レーダー波受信関連の設定時に操作します。

### ⑰DIGITAL/Sスイッチ

デジタル無線、サーチ機能関連の設定時に操作します。



- ⑱MEMO/Cスイッチ  
ユーザーメモリー、GPSボイスポイント消去関連の設定時に操作します。
- ⑲ROAD/Aスイッチ  
GPSボイス対象道路、エリアカット関連の設定時に操作します。
- ⑳MUTE/TESTスイッチ  
各種ミュート、アラームテスト関連の設定時、D.S.C.の有効/無効切替え時に操作します。
- ㉑ソーラーパネル角度固定ネジ  
ソーラーパネルの開閉時に操作します。
- ㉒ソーラーパネル  
太陽光を受けて発電し、内蔵バッテリーを充電します。
- ㉓レーダーアンテナ(内蔵)  
レーダー波を受信します。
- ㉔GPSアンテナ(内蔵)  
GPS衛星からの信号を受信します。
- ㉕Nシステム検知部  
Nシステムを検知します。
- ㉖サンバイザークリップ取付部  
サンバイザークリップを差し込みます。
- ㉗ウインドウ取付金具取付部  
ウインドウ取付金具を取付けます。
- ㉘マウントベース取付部  
マウントベースを取付けます。
- ㉙スピーカー(内蔵)  
GPSボイス、レーダーブザーなどが鳴ります。

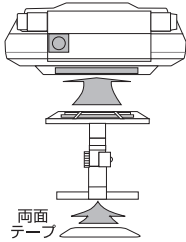
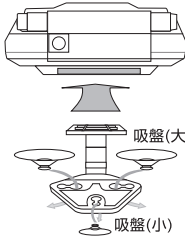
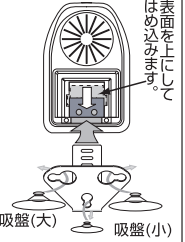
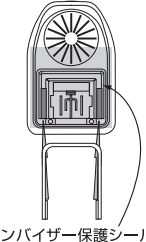


# 使ってみよう

使ってみよう

取付方法

## 取付方法

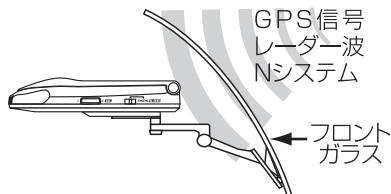
### マウントベースの取付け

ダッシュボード取付け	フロントガラス取付け	フロントガラス 上部取付け	サンバイザー取付け
 <p>両面テープ マウントベース</p>	 <p>吸盤(大) 吸盤(小) マウントベース</p>	 <p>表面を上にして はめ込みます。 吸盤(大) 吸盤(小) ウインドウ取付金具</p>	 <p>サンバイザー保護シール サンバイザークリップ</p>
<p>マウントベースで両面テープを使用して取付けます。</p>	<p>マウントベースに吸盤を取付けてフロントガラスへ取付けます。</p>	<p>マウントベース取付部に補助プレートをスライドさせてはめ込み、ウインドウ取付金具を差し込みます。</p> <p>裏面 表面</p>	<p>サンバイザークリップを取付けて、本機とクリップでサンバイザーを挟み込みます。</p>

### お車への取付け(マウントベース使用時)

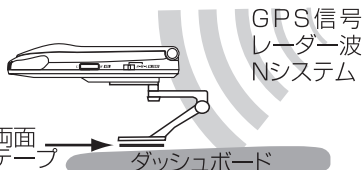
#### フロントガラスへの取付け

付属の吸盤を使用して、フロントガラスへ取付けます。



#### ダッシュボードへの取付け

付属の両面テープを使用してダッシュボードへ取付けます。



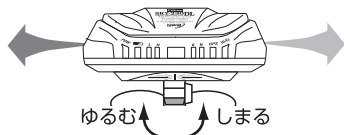
注意

お取付けになる車両のウィンドウに熱反射ガラスを使用している場合には、電波の透過性が低い為にレーダー波、GPS信号、カーロケーター、デジタル無線350.1MHz無線、の受信感度が低くなる場合があります。熱反射ガラスの使用の有無は、車両のディーラーやメーカーへお問い合わせ下さい。

## 取付角度の調整

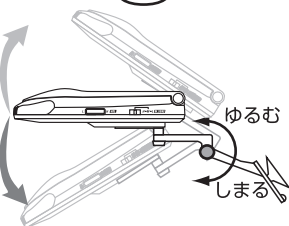
### 左右の角度調整

左右角度調整ネジをゆるめてお好みの位置を決めたら、左右角度調整ネジをしめて、固定してください。



### 上下の角度調整

上下角度調整ネジをゆるめてお好みの位置を決めたら、上下角度調整ネジをしめて、固定してください。



※本機を道路に対して水平になるように調整してください。

※太陽光の角度により、表示ランプが見えにくい場合があります。

使ってみよう

取付方法

## お車への取付け (ウインドウ取付金具、サンバイザークリップ使用時)

### ソーラーパネルの広げ方

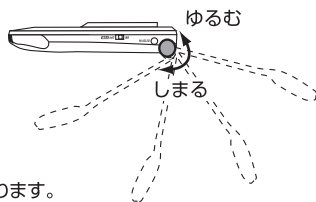
①ソーラーパネル角度固定ネジを十分にゆるめてソーラーパネルを広げてください。

②ソーラーパネルの角度が決まったら、ソーラーパネル角度固定ネジをしっかりとしめてください。

#### ※注意

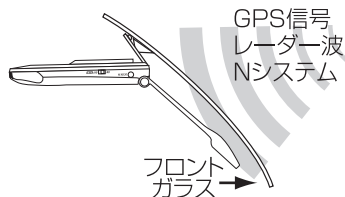
ネジがしまったまま広げますと、本機の破損を招きますので、十分にご注意ください。

※ネジは左に回すとゆるみます。右に回すとしまります。



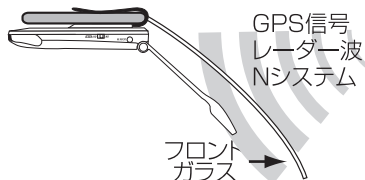
### フロントガラス上部への取付け

ウインドウ取付金具を使用して、フロントガラスへ取付けます。



### サンバイザーへの取付け

サンバイザークリップを使用してサンバイザーを挟み込んで取付けます。



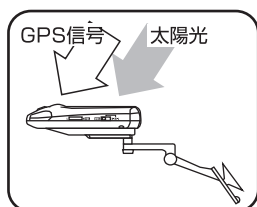
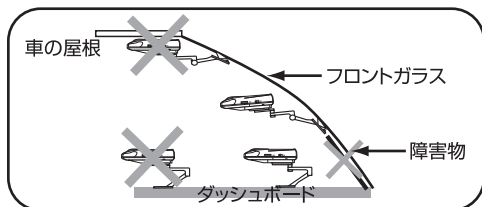
次ページへつづく

## 取付時の注意事項

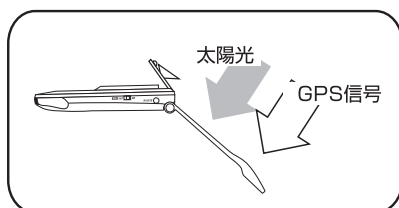
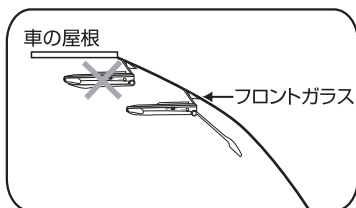
レーナビ・ソーラーは上空からのGPS信号受信と前方からのレーダー波、Nシステムを検知してお知らせします。また、ソーラーパネルによる充電機能を備えています。その為、本機の上、前(車の進行方向)に、障害となるものが無いようにお取付けください。

使  
っ  
て  
み  
よ  
う

取  
付  
方  
法



サンバイザーなどに取付ける場合には必ずソーラーパネルに直接太陽光が当るように、また、GPSアンテナ部がGPS信号を受信出来るようにソーラーパネルを広げた状態で取り付けてください。



**注 意** フロントガラスに着色してある、または特殊加工してある車種の場合、ソーラー充電効率が低下して内蔵バッテリーの消耗が早くなります。



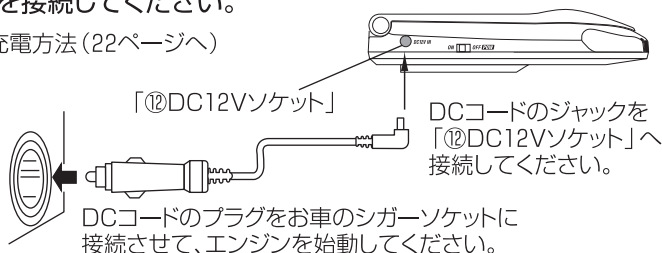
**注 意** お車によっては、本機をサンバイザーへお取付けになった場合、ソーラーパネルによる充電、GPS信号の受信が出来ない場合があります。



**注 意** サンバイザー表面の材質によっては、サンバイザーの表面に本機の取付け跡が残ったり、色移り等を招く場合がありますので、サンバイザーへ取付ける場合には、必ずサンバイザー保護シールを使用してお取付け下さい。

## 1. DCコードを接続してください。

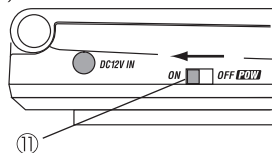
詳細 ▶ 充電方法 (22ページへ)



## 2. 電源を入れてください。

詳細 ▶ 電源の入れ方、切り方 (24ページへ)

「⑪POWスイッチ」を「ON」にすると、  
本機の電源が入ります。



お買い求め頂いた時、各種設定は工場出荷状態になっています。  
設定を変更したい場合には、各該当項目をご覧ください。

## 3. 走り出す前に。

電源を入れた後、GPS測位が確定するまで、しばらくお待ちください。

詳細 ▶ GPS機能を使うには (25ページへ)

※この時、GPS測位が確定する前にオートパワー機能により、電源が切れてしまわない様に、D.S.C.機能を【OFF】に設定することをおすすめいたします。

GPS測位が確定したら、**準備完了です。**

## 4. さあ、実際に走ってみよう!!

本機は取締機に対して、常に有効ではありません。

くれぐれも、スピードの出しすぎには注意して走行してください。

取締機に対しての本機の動作は

詳細 ▶ レーナビ動作 (38ページへ)

次ページへつづく

電源が入ると、この状態から動作します。

- GPS機能……………ON **詳細**▶ GPS機能を使うには(25ページへ)
  - ・全国約650箇所の取締機に対して、最大2キロ手前から4ステップGPSボイス。  
(LHシステム、ループコイル含)
  - ・全国約1550箇所のNシステムに対して、最大500m手前でのGPSボイス。  
(工場出荷状態はNシステムGPSボイスは【OFF】になっています。)

**詳細**▶ Nシステム(43ページへ)

  - ・GPSボイス対象道路選択【ALL】。
  - ・ユーザーメモリー記録可能。                      ・エリアカット設定可能。
  
- 動作モード……………ベーシックモード
 

**詳細**▶ 動作モードの切替え方法(27ページへ)
- レーダー受信感度……………エクストラ
 

**詳細**▶ レーダー波を受信するには(29ページへ)
- Nシステム検知感度……………Hi
 

**詳細**▶ Nシステム(43ページへ)
- D.S.C.機能……………ON
 

**詳細**▶ D.S.C.機能を使用するには(30ページへ)
- デジタル無線受信……………ON(3倍速サーチモード)
 

**詳細**▶ デジタル無線を受信するには  
(35ページへ)
- カーロケーター受信……………ON(受信感度Hi)
 

**詳細**▶ カーロケーターを受信するには  
(33ページへ)
- 350.1MHz受信……………ON
 

**詳細**▶ 350.1MHz無線を受信するには  
(34ページへ)



注意

本機を取付けている、いないの状態にかかわらず、走行中の速度違反に関して、弊社では一切の責任を負いかねます。日頃からの安全運転を心がけてください。

## 内蔵バッテリーについて

本機は、DC12V入力または内蔵バッテリーを電源として動作いたしますが、特に内蔵バッテリー（コードレス）での使用の際には、いくつかの注意点がありますので、それらをよく御理解した上でご使用ください。

### 使用上の注意点

50h

本機は内蔵バッテリー満充電で、連続最大約50時間のコードレス使用を実現していますが、これは最も少ない消費電流で動作している場合に限られます。実際の使用環境により、50時間使用できない場合があります。あらかじめご了承ください。

7h

初めてお使いになる場合には、必ずDCコードを使用し充電をしながら使用してください。充電時間の目安は累積で約7時間です。

使用例: 1時間充電×7回

※必ずオートパワー機能を【ON】にしてご使用ください。

micro  
Computer  
control

本機の充電機能は全てマイコン制御で、効率の良い充電を行うと同時に、充電中でも通常に使用する事ができます。



本機は、さまざまな省電力対策を施しておりますが、GPS測位時に多量の電気を消費します。内蔵バッテリーの電圧がある一定値以下になると内蔵バッテリー保護のため、GPS機能が強制的に停止します（GPS機能停止表示あり）ので、ご注意ください。



ソーラーパネルからの充電は、あくまで補助的な充電です。レーナビ動作の頻度が高い地域では、思った以上に早く内蔵バッテリーが消耗する場合がありますので、ご注意ください。



ソーラーパネルの発電能力は、天候、取付け場所によって大きく左右されます。曇りや雨などの時には発電されませんので、DCコードを接続して使用してください。

※本機を長期間使用せずに放置してしまいますと、内蔵バッテリーが空になってしまう場合があります。その場合、GPS測位の各種データは消去され、次の使用時、GPS測位に時間がかかってしまう場合がありますので、ご注意ください。

※長時間ご使用にならない場合、必ず「⑩POWスイッチ」を「OFF」にして下さい。

※内蔵のバッテリーには寿命があります。充電が十分にできなくなってきたら新しいものと交換して下さい。（使用状況にもよりますが目安は約3年です。）

※内蔵のバッテリーの交換については、お買い上げの販売店、又は最寄りのお問い合わせ窓口、カスタマーセンターにご相談下さい。

※フロントガラスに着色してある、または特殊加工してある車種の場合、ソーラー充電効率が低下して内蔵バッテリーの消耗が早くなります。

※内蔵バッテリーの消耗が激しいときには、DCコードの使用をお勧めします。

※冬期はソーラーの性質上、充電がしにくくなる場合があります。

※シガープラグ内部のヒューズが切れた場合は新しいヒューズ（1A）に交換して下さい。

※一部の車種においては、シガープラグ形状が合わないことがあります。

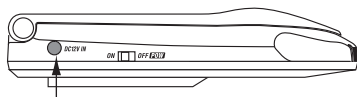
## 充電方法

### DCコードからの充電方法

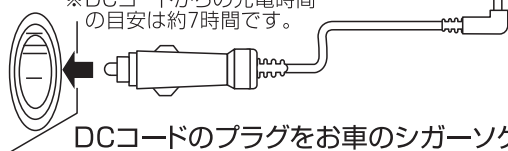
初めてお使いになる場合や、コードレスでの使用時に「③BATランプ」がオレンジ色、赤色に点滅した場合は、必ずこのDCコードからの充電を行ってください。

※必ずオートパワー機能を【ON】にして充電を行ってください。

➡ (32ページへ)



※DCコードからの充電時間の目安は約7時間です。



DCコードのジャックを「⑫DC12Vソケット」へ接続してください。

DCコードのプラグをお車のシガーソケットに接続させて下さい。

- ※DCコードからの充電は、「⑩POWスイッチ」が「OFF」の場合でも充電できます。
- ※DCコードから充電する場合は、お車のエンジンがかかっている状態でのみ充電されます。(一部車種除く)

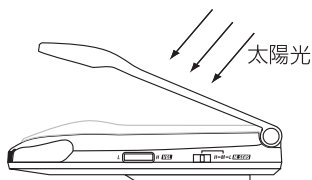


注 DCコード使用時は、お車のキーが【OFF】になっても本機の電源は内蔵バッテリーに切り替わりますので電源は切れません。必ずオートパワー機能を【ON】にした状態でご使用ください。オートパワー機能が【OFF】の場合、内蔵バッテリーの消耗が激しくなり内蔵バッテリーの寿命が短くなる恐れがあります。

充電を十分にしたら後は、DCコードを抜いて、コードレスでもご使用いただけます。

### ソーラーパネルでの充電方法(補充電)

ソーラーパネルに太陽光が直接当るようにソーラーパネルの角度を調整して下さい。



※お車によっては、本機をサンバイザーへお取付けになった場合、ソーラーパネルによる充電が出来ない場合があります。

※ソーラーパネルからの充電は、「⑩POWスイッチ」が「OFF」の場合でも充電できます。

※夜間、雨天曇りの日はソーラーパネルでの充電は行われません。

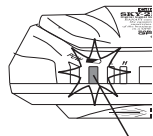
※満充電後は、まったく充電されない状態でも最大約50時間連続使用(最小消費電力動作時)ができますが、使用時の条件などで使用時間が短くなりますので、ご注意ください。



## DC12V入力モニタリング機能

DCコード使用時、DC12Vが入力されているかどうかをマイコンで監視して「③BATランプ」で表示します。

DC12Vが入力されている場合「③BATランプ」が緑色に点灯し、DC12V入力が切れている場合は点滅、または消灯します。



「③BATランプ」

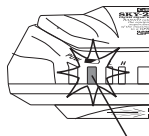
- ※DC12V入力時には、内蔵バッテリーの状態表示はしません。
- ※DC12Vが切れた場合には、内蔵バッテリーの状態を表示した後、コードレス使用時の表示に切り替わります。
- ※DC12Vが切れた場合の表示は、実際の状態よりも低い状態を表示します。

## 内蔵バッテリーの状態を確認するには

DCコードを使用していない状態で、電源を「ON」にします。

電源の入れ方、切り方 ➡ (24ページへ)

電源「ON」後、約10秒間「③BATランプ」で、状態表示をします。



「③BATランプ」

緑色の点滅	充電が十分にされている状態
消灯	使用可能状態
オレンジ色の点滅	充電が必要な状態 (GPS機能強制停止)
赤色の点滅	充電が必要な状態 (全機能強制停止) となります。

- ※オレンジ色の点滅時、「GPSを解除しました。充電をしてください。」とアナウンスし、GPS機能が停止していることをお知らせします。(1回のみ)
- ※赤色点滅をしている時、「受信できません。充電してください。」と30秒毎に繰り返しアナウンスし、全機能が停止していることをお知らせします。
- ※オレンジ色の点滅、赤色の点滅から通常動作に復帰させるには、DC12V入力 (DCコード使用) すると自動復帰します。復帰後は十分に充電を行ってください。



**注 意** DCコードを抜く場合には、必ず本機側のジャックから抜いてください。シガープラグを先に抜いてしまいますと、内蔵バッテリーの状態表示が実際よりも低く表示され、GPS回路が停止してしまう場合があります。



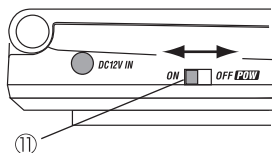
**注 意** オレンジ色の点滅、赤色の点滅になった場合、各種設定や登録などは保護されていますが、GPS測位は再測位となりますので、測位確定まで時間がかかる場合があります。ご注意ください。

# 基本操作

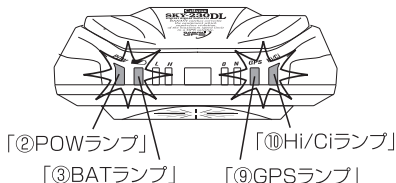
## 電源の入れ方、切り方

本機の電源を入れる操作、切る操作は、「⑪POWスイッチ」で行います。

「⑪POWスイッチ」を「ON」にすると、本機の電源が入ります。  
「⑪POWスイッチ」を「OFF」にすると、本機の電源が切れます。



電源が入ると「②POWランプ」「③BATランプ」「⑨GPSランプ」「⑩Hi/Ciランプ」が点滅します。



・GPS測位が確定するまで、「⑨GPSランプ」が点滅を繰り返します。GPS測位が確定すると、「ピンポン」とアナウンスし、「⑨GPSランプ」が消灯します。

※GPS機能が【OFF】に設定されている場合、電源を入れると「⑨GPSランプ」は2回点滅を繰り返し、「⑩Hi/Ciランプ」は消灯しています。

・「③BATランプ」がオレンジ色又は赤色に点滅している場合には、内蔵バッテリーの電圧が低くなっていますので、DCコードを使用して充電を行ってください。コードレスでの使用時、電源が「ON」になると「③BATランプ」が約10秒間内蔵バッテリーの充電状態を表示します。

➡ 充電方法 (22ページへ)

### 電源を切った時

各種設定した内容は残りますので、次回電源を入れた時には、電源を切った時の状態から始まります。

走行開始時、エンジン停止後、自動的に電源を入れたり、切ったりする場合

➡ オートパワー機能 (32ページへ)



注  
意

### お買い求め頂いて、初めてお使いになる場合。

GPS測位が確定するまでに時間がかかる場合がありますが(約15分程度)、これは製品不良や故障などではありません。あらかじめご了承ください。この場合、「⑨GPSランプ」は測位が確定するまでサーチ中の表示を続けます。

## GPS機能を使うには

### GPS機能が【ON】で使用できる機能

GPS信号と、本機に登録されている取締機、Nシステムの位置データを利用した機能などが使用できます。

- ✕ NHシステム、LHシステム、ループコイル、新Hシステム、オービスに対して、GPSボイスでお知らせ。  
※新Hシステム、オービスに対するGPSボイスは、動作モードがフルモードの時にのみ行われます。  
※GPS機能が【OFF】の場合、NHシステム、ループコイル、LHシステムに対してGPSボイスでお知らせする事ができません。
- ✕ 4ステップGPSボイス（取締機識別、設置道路識別、距離、カメラ位置）  
※一般道は3ステップです。
- ✕ 取締機識別、設置道路識別ランプ表示
- ✕ 速度取締機、約650箇所に対しての最大2キロ手前からのGPSボイス
- ✕ Nシステム、全国約1550箇所に対しての最大500m手前でのGPSボイス  
※DCコード接続時のみ。別途設定が必要です。
- ✕ GPSボイス対象道路の選択（Hi/Ci/AII）
- ✕ ユーザーメモリー機能（最大30箇所）
- ✕ エリアカット機能（1箇所）
- ✕ タイムディマー機能



注意

トンネル内、高架下、ビル谷間、森林の中や高圧電線、高出力無線の近くなどではGPS信号を受信しない、または受信しにくくなりますので、ご注意ください。



注意

GPS機能を使用するには、GPS信号を正常に受信し、GPS測位が確定している場合に限られます。



注意

車内でTVの56chにチャンネルを設定していると、本機がGPS測位が出来なくなる事があります。これは故障や不良ではありません。あらかじめご了承ください。

## GPS機能の「ON」「OFF」の仕方

GPS機能のON/OFF操作は「①POWスイッチ」と「⑯ROAD/Aスイッチ」で行います。

※工場出荷時、GPS機能は【ON】になっています。

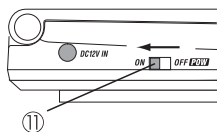
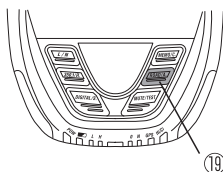
1. 「⑯ROAD/Aスイッチ」を押しながら
2. 「①POWスイッチ」を「ON」にします。

【ON】→【OFF】の時  
"GPSを解除しました。"

【OFF】→【ON】の時  
"GPSを設定しました。"  
とアナウンスします。

この操作を行う度に、GPS機能は  
【ON】↔【OFF】と切替ります。

3. 「⑩Hi/Ciランプ」で、設定内容が確認  
できます。



「⑩Hi/Ciランプ」

## 「⑩Hi/Ciランプ」の表示

「⑩Hi/Ciランプ」の点滅色で、GPSボイスの対象道路を表示します。

点滅色	対象道路	GPS機能
オレンジ色	All (全て)	【ON】
赤色	Hi (高速道)	
緑色	Ci (一般道)	
消灯	GPS機能【OFF】	



「⑩Hi/Ciランプ」

## 🌀 動作モードの切替え方法

### 動作モード

#### ベーシックモード

NHシステム、LHシステム、ループコイル、光電管（設置型）、ユーザーメモリーに対してはGPSボイスで、新Hシステム、オービスに対してはレーダーブザーのみでお知らせします。

#### フルモード

NHシステム、LHシステム、ループコイル、光電管（設置型）、ユーザーメモリーに対してGPSボイスし、新Hシステム、オービスに対してGPSボイス+レーダーブザーの両方でお知らせします。

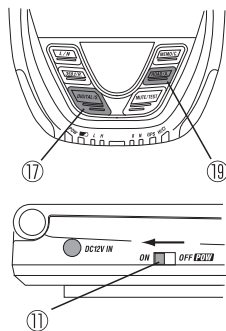
工場出荷時はベーシックモードに設定されています。

基本操作

GPS機能を使うには

動作モードを切替える事によって、GPSボイスでお知らせさせたい対象を変更できます。動作モードの切替え操作は「⑰DIGITAL/Sスイッチ」「⑱ROAD/Aスイッチ」と、「⑪POWスイッチ」で行います。

1. 「⑰DIGITAL/Sスイッチ」と「⑱ROAD/Aスイッチ」を押しながら
2. 「⑪POWスイッチ」を「ON」にします。
3. ベーシックモード→フルモードの場合  
"取締機を記録しました。"を繰り返している間に「⑰DIGITAL/Sスイッチ」か「⑱ROAD/Aスイッチ」を、"設定しました。"とアナウンスするまで（約1秒間）押します。
4. フルモード→ベーシックモードの場合  
"取締機を消去しました。"を繰り返している間に「⑰DIGITAL/Sスイッチ」か「⑱ROAD/Aスイッチ」を、再度"解除しました。"とアナウンスするまで（約1秒間）押します。



🚫 **ワンポイント** 動作モードの設定状態はアラームテスト機能で確認することが出来ます。 ➡ (52ページへ)

次ページへつづく

GPS機能を使うには(つづき)

## 「⑨GPSランプ」の表示

「⑨GPSランプ」は、GPSの測位状態を表示します。

測位中 消灯

測位が確定し、正常に動作している時。



測位不可・サーチ中 点滅

GPS信号が受信できない時。  
電源「ON」後、測位確定まで。  
※オートパワー機能で電源が「ON」になった場合、約30秒以内に測位が確定しない場合には測位不可の表示になります。

GPS機能OFF 2回点滅繰り返し

GPS機能「OFF」の時。  
バッテリー不足による  
GPS機能強制「OFF」の時。

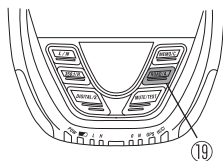
※サーチ中、測位不可の状態からGPS信号を受信すると、測位中の表示「消灯」になります。

## GPSボイス対象道路選択機能の設定方法

(GPS機能が「ON」の時のみ)

対象道路の設定操作は「⑩ROAD/Aスイッチ」で行います。

1. 「⑩ROAD/Aスイッチ」を押すと設定内容が切替わります。
2. 設定内容に応じてボイスがアナウンスされ「⑩Hi/Ciランプ」の点滅色も切替わります。



ボイス内容、点滅色

対象道路	ボイス	点滅色
Hi (高速道)	ハイウェイモードです。	赤色
Ci (一般道)	シティモードです。	緑色
All (全て)	オールモードです。	オレンジ色



「⑩Hi/Ciランプ」

この操作を行う度に、対象道路は【All】→【Hi】→【Ci】→【All】→と切替わります。

対象となる道路の目安

All (全て)	Hi	高速道(都市高速含)
	Ci	一般道(国道、県道等)

※GPS機能が【OFF】の場合には、「ピピッ」と鳴って操作が無効である事をお知らせします。  
※工場出荷時、GPSボイス対象道路は【All】に設定されています。



## レーダー波を受信するには

本機の電源を「ON」にすることで、レーダー波を受信することができます。



## レーダー感度3段階切替え機能

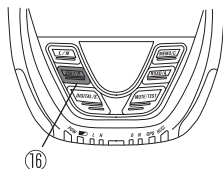
レーダー波の受信感度を「エクストラ/ウルトラ/スーパー」の3段階で切替える事が出来ます。レーダー感度の切替えは「⑩350.1/Rスイッチ」で行います。

1. 「⑩350.1/Rスイッチ」を"ピツ"と鳴るまで(約1秒間)押します。

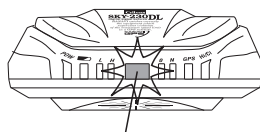
「⑥フラッシュモニター」で現在の設定内容が表示されます。(約3秒間)

2. 「⑥フラッシュモニター」が点灯している間に、再度「⑩350.1/Rスイッチ」を押す事でレーダー感度を切替えます。

感度が切替ると「⑥フラッシュモニター」の点灯色が変わり、約3秒間点灯した後、設定内容に応じたボイスをアナウンスして、通常動作に戻ります。



⑩



「⑥フラッシュモニター」

基本操作

受  
信  
す  
る  
に  
は

ボイス内容、点灯色

レーダー感度	感度	ボイス	点灯色
エクストラ	感度高	エクストラモードです。	青色
ウルトラ	感度中	ウルトラモードです。	緑色
スーパー	感度低	スーパーモードです。	赤色

この操作を行う度に【エクストラ】→【ウルトラ】→【スーパー】→【エクストラ】→と切替ります。

※工場出荷時、レーダー受信感度は【エクストラ】に設定されています。

## 🌀 D.S.C.機能を使用するには

この機能を使用すると、低速走行時や停止時などに不要なレーダーブザーをキャンセルさせることができます。

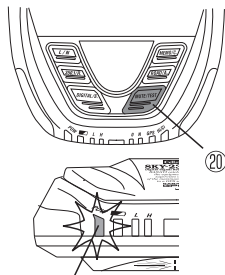
コードレスでの使用中は内蔵ムービングセンサーを、DCコード使用時はGPS信号を利用して動作します。 ※工場出荷時、D.S.C.機能は【ON】になっています。

## 🌀 D.S.C.機能【ON】【OFF】の設定方法

D.S.C.機能の設定は、「⑳MUTE/TESTスイッチ」で行います。

※レーダーブザー中は設定できません。

1. 「⑳MUTE/TESTスイッチ」をボイスアナウンスされるまで(約7秒間)押します。  
(オートパワー機能も連動して【ON】【OFF】します。)
2. 設定内容に応じたボイスでアナウンスし、「⑳POWランプ」の点滅色も切替ります。



この操作で、【ON】 ↔ 【OFF】と切替わります。

ボイス内容、点灯色

「⑳POWランプ」

D.S.C.機能	ボイス	点滅色
ON	LSCを設定しました。	緑色、赤色
OFF	LSCを解除しました。	オレンジ色

※DCコード使用時、「⑳POWランプ」は点灯になります。

D.S.C.機能【ON】の時の動作は ➡ (32ページへ)



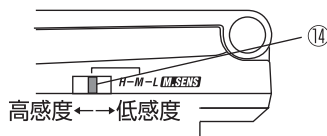
## 内蔵ムービングセンサーの感度設定方法

コードレスで使用している場合、D.S.C機能は、内蔵のムービングセンサーを利用しますので、お車の振動に合わせてムービングセンサーの感度設定を行う必要があります。

「⑭M.SENSスイッチ」でお車に合った感度に調整して下さい。

### 「⑭M.SENSスイッチ」の設定の目安

- L……振動の多い車（低感度）
- M……標準設定位置
- H……振動の少ない車（高感度）



### 感度設定の確認方法

- ①アイドリング状態（停止中）で、またはエンジンが停止している時など、「②POWランプ」が赤色に点滅することを確認してください。もし緑色の点滅の場合には設定感度を、低くして赤色に点滅するように設定してください。
- ②アイドリング状態（停止中）から走行状態になった時、「②POWランプ」が緑色に変化したことを確認してください。もし赤色の点滅のままの場合は、設定感度を高くして緑色に変化するように設定してください。

### 感度設定操作の例

- 例1) 停止中、「②POWランプ」が赤色の点滅になることが無く、また電源が自動的に「OFF」になる事が無い。  
設定感度が高すぎます。 → 設定感度を落としてください。
- 例2) 走行中、自動的に電源が入ることが少なく、「②POWランプ」が緑色の点滅になることも少ない。  
設定感が低すぎます。 → 設定感度を上げてください。
- 例3) 走行中、よく自動的に電源が入ったり切れたりする。  
設定感がやや低い。 → 設定感度を上げてください。

基本操作

DSC機能を使用するには

## 

D.S.C.機能が【ON】で、振動を検知していない場合（レーダーブザーがキャンセルされる時）※DCコード使用時は約30km/h未満で走行時。

「②POWランプ」は赤色の点滅をしています。

※DCコード使用時は赤色の点灯になります。

レーダー波を受信すると、レーダーブザーは鳴りませんが、「①ウォーニングランプ」は点滅します。

D.S.C.機能が【ON】で、振動を検知している場合（レーダーブザーがキャンセルされない時）※DCコード使用時は約30km/h以上で走行時。

「②POWランプ」は緑色の点滅をしています。

※DCコード使用時は緑色の点灯になります。

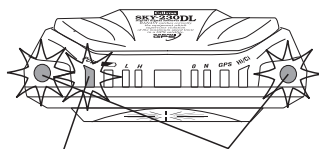
レーダー波を受信すると、レーダーブザーが鳴り、「①ウォーニングランプ」も点滅します。

D.S.C.機能が【OFF】の場合（レーダーブザーがキャンセルされない時）

「②POWランプ」はオレンジ色の点滅をしています。

※DCコード使用時は緑色の点灯になります。

レーダー波を受信すると、レーダーブザーが鳴り、「①ウォーニングランプ」も点滅します。



「②POWランプ」 「①ウォーニングランプ」

## 

内蔵のムービングセンサーを利用して、駐車時などの振動の無い状態が3分以上続いた時に、自動的に電源を切ります。再度エンジン始動などで連続的な振動を検知すると、自動的に電源が入ります。

### 

オートパワー機能の【ON】【OFF】設定はD.S.C.機能の【ON】【OFF】に連動します。

D.S.C.機能を使用するには ➡ （30ページへ）

※オートパワー機能で電源を入れる場合、エンジン始動やお車の走行など、連続的な振動が必要です。短時間の振動では電源が入らない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

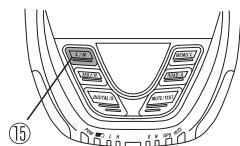
## カーロケーターを受信するには

カーロケーターを受信するには、「⑮L/Nスイッチ」で設定を行います。

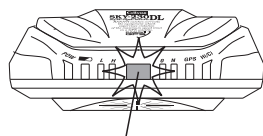
### 受信設定・受信感度切替方法

1. 「⑮L/Nスイッチ」を押します。

「⑥フラッシュモニター」で現在の設定内容が表示されます。(約3秒間)



2. 「⑥フラッシュモニター」が点灯している間に再度、「⑮L/Nスイッチ」を押すと、カーロケーター受信の【ON】【OFF】と受信感度を設定します。



感度が切替ると「⑥フラッシュモニター」の点灯色「⑥フラッシュモニター」が変わり、約3秒間点灯した後、設定内容に応じたボイスをアナウンスして、通常動作に戻ります。

#### ボイス内容と点灯色

設定内容	カーロケーター	ボイス	点灯色
	ON (感度Hi)	カーロケを設定しました。	青色
	ON (感度Lo)	カーロケを設定しました。	緑色
	OFF	カーロケを解除しました。	赤色

※工場出荷時、カーロケーター受信機能は【ON】、受信感度は【Hi】になっています。

※カーロケーター、350.1MHz無線、デジタル無線を受信中、カーロケーター受信感度切替の操作はできません。その場合には、“ピピッ”と鳴ってお知らせします。

基本操作

カーロケーターを受信するには

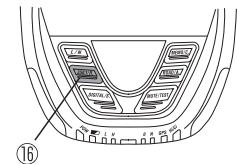
## 🌀 350.1MHz無線を受信するには

350.1MHz無線を受信するには、「⑩350.1/Rスイッチ」で設定を行います。

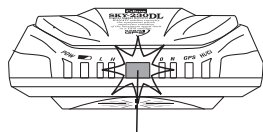
### 🌀 受信設定方法

1. 「⑩350.1/Rスイッチ」を押します。

「⑥フラッシュモニター」で現在の設定内容が表示されます。(約3秒間)



2. 「⑥フラッシュモニター」が点灯している間に再度、「⑩350.1/Rスイッチ」を押すことで350.1MHz無線受信の【ON】【OFF】を設定する事が出来ます。



感度が切替ると「⑥フラッシュモニター」の点灯色が変わり、約3秒間点灯した後、設定内容に応じたボイスをアナウンスして、通常動作に戻ります。

ボイス内容と点灯色

設定内容	350.1MHz無線	ボイス	点灯色
	ON	350.1メガを設定しました。	青色
	OFF	350.1メガを解除しました。	赤色

※工場出荷時、350.1MHz無線受信機能は【ON】になっています。

## デジタル無線を受信するには

デジタル無線を受信するには、「⑰DIGITAL/Sスイッチ」で設定を行います。

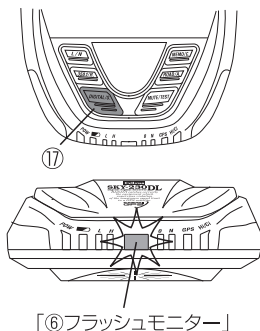
### 受信設定・通常サーチ/3倍速サーチ切替え方法

1. 「⑰DIGITAL/Sスイッチ」を押します。

「⑥フラッシュモニター」で現在の設定内容が表示されます。(約3秒間)

2. 「⑥フラッシュモニター」が点灯している間に再度、「⑰DIGITAL/Sスイッチ」を押すことで、デジタル無線の【ON】【OFF】とサーチモードを設定する事が出来ます。

感度が切替ると「⑥フラッシュモニター」の点灯色が変わり、約3秒間点灯した後、設定内容に応じたボイスをアナウンスして、通常動作に戻ります。



ボイス内容と点灯色

設定内容	デジタル無線	ボイス	点灯色
	ON (3倍速サーチ)	デジタル無線を設定しました。	青色
	ON (通常サーチ)	デジタル無線を設定しました。	緑色
	OFF	デジタル無線を解除しました。	赤色

### デジタル無線3倍速サーチ機能

デジタル無線の受信可能な約50チャンネルのサーチ時間を1/3に短縮します。

※工場出荷時、デジタル無線受信機能は【ON】、【3倍速サーチ】モードになっています。

基本操作

デジタル無線を受信するには

## カーロケーターAI受信

カーロケーターの電波を受信し、緊急車両が接近しているか、遠ざかっているかを判断し、お知らせします。

カーロケーターの電波を受信すると、その発信元が500m以内かどうかを判定しカーロケボイスと「⑥フラッシュモニター」でお知らせします。

発信元までの距離	カーロケボイス
約500m以内 ※1 (目安)	"ピンポン、カーロケを受信しました。 500m以内緊急車両に注意してください。"
約1キロ以内 ※2 (目安)	"ピンポン、カーロケを受信しました。 1キロ以内緊急車両に注意してください。"

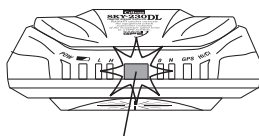
※1:カーロケーター感度が【Hi】であってもお知らせします。  
 ※2:カーロケーター感度が【Lo】の場合はアナウンスしません。

前回の受信から約30秒以内に再度受信した場合には、その発信元が前回よりも接近しているか、遠ざかっているかを判断し、その結果をカーロケボイスと「⑥フラッシュモニター」でお知らせします。

発信元の移動状態	カーロケボイス
接近 (目安)	"ピンポン、ピンポン、 緊急車両に注意してください。"
遠ざかっている (目安)	"ピンポン、ピンポン、 カーロケを受信しました。"

約30秒間受信が無くなると、接近判断を終了します。

「⑥フラッシュモニター」は、カーロケボイスがアナウンスしている間、青緑色に点滅しています。



「⑥フラッシュモニター」

カーロケーターの電波を受信した時は、周囲に注意し、緊急車両が近くを走行していた場合には、緊急車両の走行を妨害することなく、速やかに緊急車両に道を譲ってください。

※カーロケーターの受信範囲の目安は【Hi】の時半径約1キロ、【Lo】の時半径約500mです。  
 ※GPSボイス、レーダープザー中にカーロケーターを受信した場合は、カーロケーターが優先されます。  
 ※350.1MHz無線、デジタル無線受信中はカーロケーターは受信しません。

## 350.1MHz無線受信動作

350.1MHz無線を受信すると、「⑥フラッシュモニター」が点滅し、受信した音声がかかります。

350.1MHz無線を受信すると、「⑥フラッシュモニター」が紫色に点滅し受信した無線の内容を聞く事が出来ます。

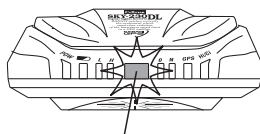
受信が終わると、  
"350.1メガを受信しました。"とアナウンスします。

### 【受信例】

「・・・生会話・・・」"350.1メガを受信しました。"

※GPSボイス、レーダーブザー中に350.1MHz無線を受信した場合は、350.1MHz無線が優先されます。

※カーロケーター、デジタル無線受信中は350.1MHz無線は受信しません。



「⑥フラッシュモニター」

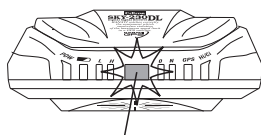
## デジタル無線受信動作

デジタル無線を受信すると、「⑥フラッシュモニター」が点滅し、ボイスで受信した事をお知らせします。

デジタル無線を受信すると、「⑥フラッシュモニター」が青色に点滅し受信ボイスをアナウンスします。

○デジタル無線ボイス

"ピンポン、デジタル無線を受信しました。"



「⑥フラッシュモニター」

※デジタル無線は交信内容を聞く事は出来ません。

※GPSボイス、レーダーブザー中にデジタル無線を受信した場合は、デジタル無線が優先されます。

※カーロケーター、350.1MHz無線受信中はデジタル無線は受信しません。

# レーナビ動作

## 4ステップGPSボイス

本機に登録されている、GPSボイスポイント、ユーザーメモリーポイントに対して最大2キロ、約1キロ、約500m、約200mの4ステップでGPSボイスによりお知らせします。(一般道は約1キロ手前からの3ステップとなります。)約200m手前のGPSボイスではカメラの位置をお知らせします。

動作イメージ(高速道、ループコイル式の場合)

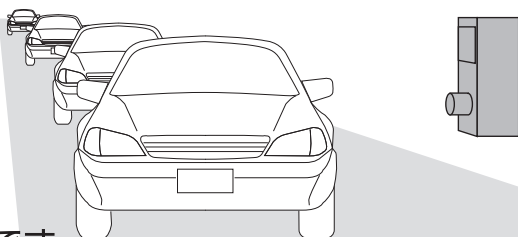
約2キロ  
ポーン、高速道、ループコイル  
に注意してください。

約1キロ  
ポーン、1キロ先、高速道、ループ  
コイルに注意してください。

約500m  
ポーン、500m先、高速道、ループ  
コイルに注意してください。

約200m

ポーン、カメラは左側です。



レーナビ動作は設定されている動作モードで異なります。

警告	4ステップGPSボイス		レーダーブザー	
	ベーシック モード	フルモード	ベーシック モード	フルモード
NHシステム	○	○	×	×
LHシステム	○	○	×	×
ループコイル	○	○	×	×
新Hシステム	×	○	○	○
オービス	×	○	○	○
ユーザーメモリー	○	○	×	×

※工場出荷時は【ベーシックモード】になっています。○:動作する ×:動作しない

※取締機が設置されていない道路を走行中に、GPSボイスが出る場合がありますが、これは近くの道路に設置された取締機に対するGPSボイスです。不良や故障ではありませんのであらかじめご了承下さい。



## 約2キロ手前でのボイス (高速道のみ)

"ポーン、高速道、【<sup>※1</sup>取締機種別】に注意してください。"

※1: NHシステム、LHシステム、ループコイル、新Hシステム、オービス。

## 約1キロ手前でのボイス

"ポーン、1キロ先(1キロ以内)、高速道(一般道)、【<sup>※1</sup>取締機種別】に注意してください。"

※1: GPSの測位確定が800m前後の場合。 ※2: 一般道に設置されている場合。

※3: NHシステム、LHシステム、ループコイル、新Hシステム、オービス、記録ポイント。

## 約500m手前でのボイス

"ポーン、500m先(500m以内)、高速道(一般道)、【<sup>※1</sup>取締機種別】に注意してください。"

※1: GPSの測位確定が約400m未満の場合。 ※2: 一般道に設置されている場合。

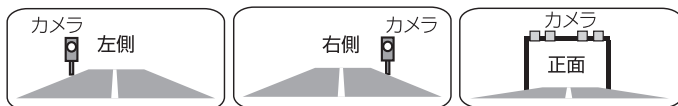
※3: NHシステム、LHシステム、ループコイル、新Hシステム、オービス、記録ポイント。

## 約200m手前でのボイス (カメラ位置ボイス)

### ○速度取締機の場合

"ポーン、カメラは右側(左側、正面)です。"

※1: カメラの設置位置によって変わります。



### ○ユーザーメモリーポイントの場合やカメラ位置データがない場合

"ポーン、【<sup>※1</sup>取締機種別】に注意してください。"

※1: NHシステム、LHシステム、ループコイル、新Hシステム、オービス、記録ポイント。

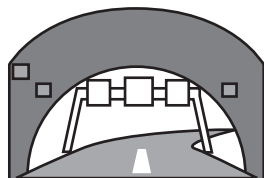
※GPS測位条件などにより、約200m手前でのボイスが、お知らせしない、またはカメラ位置通過時にお知らせする場合があります。

※両方向、可変式のと取締機については、当社で計測時の進行方向で登録しております。何らかの理由で取締り方向が変わった場合、変更後の進行方向ではGPSボイスでお知らせする事が出来ませんので、ご注意ください。

次ページへつづく

## トンネル出口付近に設置されている場合

トンネルの出口付近に速度取締機が設置してある場合には、トンネルの入口から約1キロ手前の間でトンネル出口ボイスをアナウンスします。



### ○トンネル出口ボイス

"ポーン、トンネル出口、高速道(一般道)  
※2【取締機種別】に注意してください。"

※GPSの測位条件によっては、トンネル出口ボイスが出来ない場合がありますのでご注意ください。

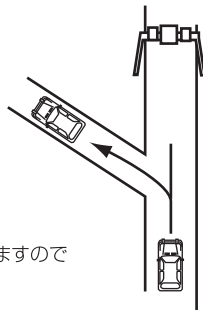
※1:一般道に設置されている場合。

※2:NHシステム、LHシステム、ループコイル、新Hシステム、オービス。

## 回避ボイス

4ステップGPSボイス中に進行方向が変わった場合には、回避ボイスでお知らせします。

"ポーン、取締機を回避しました。"



※GPSの測位条件によっては、回避ボイスが出来ない場合がありますのであらかじめご了承ください。

## GPSボイスオートキャンセル機能

4ステップGPSボイス中、渋滞などで一定時間を超えた場合、自動的にキャンセルボイスをアナウンスして、GPSボイスを中止します。

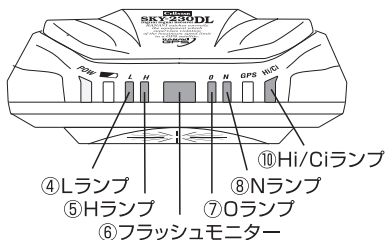
### ○キャンセルボイス

"ポーン、解除しました。注意してください。"

※GPSボイスオートキャンセル機能が働いた場合、その後キャンセルされたポイントに対してのGPSボイスはありません。あらかじめご了承ください、十分に注意して走行してください。

## ✂ GPSボイス時のランプ点滅について

4ステップGPSボイス中に取締機や設置道路を識別して各種ランプが点滅します。



取締機	点滅表示ランプ
NHシステム	⑤Hランプ ⑧Nランプ
LHシステム	④Lランプ ⑤Hランプ ⑥フラッシュモニター
ループコイル	④Lランプ ⑥フラッシュモニター
新Hシステム	⑤Hランプ
オービス	⑦Oランプ
ユーザーメモリのポイント	④Lランプ ⑤Hランプ ⑦Oランプ ⑧Nランプ
エリアカット内走行中	④Lランプ ⑤Hランプ ⑦Oランプ ⑧Nランプ

設置道路	「⑩Hi/Ciランプ」点滅色
高速道	赤色点滅
一般道	緑色点滅

※点滅時間はGPSボイスを開始してから約10秒間です。



**注** 走行速度が20km/h以下の場合、走行している方向が確定できない場合があります。その場合にはGPSボイスが出ない場合がありますのでご注意ください。



**注** ステルスやネズミ捕りなどの速度取締りに対しては、ポイント登録ができませんので、GPSボイスが行えません。頻繁に取り締りが行われているポイントなどでは、レーダーブザーやユーザーメモリー機能などを利用してください。

## 📡 レーダーブザー

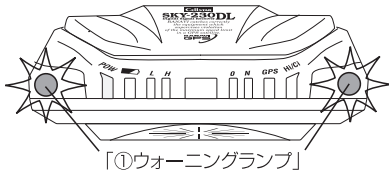
レーダー式オービス、新Hシステム、ネズミ捕り、ステルスなどのレーダー波を受信すると、ブザー音と「①ウォーニングランプ」が点滅します。

### 📡 レーダー波を受信した場合

受信したレーダー波の強さに応じて、ブザー音が鳴ります。

取締り機 までの距離	レーダー 波の強さ	ブザー音
遠い	弱い	ピッ・・・ピッ・・・ピッ・・・
↕	↕	ピッ・・・ピッ・・・ピッ・・・ピッ・・・
↕	↕	ピッ・・・ピッ・・・ピッ・・・ピッ・・・ピッ・・・
↕	↕	ピッ・ピッ・ピッ・ピッ・ピッ・ピッ・ピッ
近い	強い	ピピピピピピピピピピピピピピピピピピ

ブザー音と同時に、「①ウォーニングランプ」が点滅します。



### 📡 ステルス専用アラーム

短時間に強いレーダー波を受信すると、それをステルス波として識別し、ステルス専用アラームでお知らせします。

”ステルスを受信しました。ピロピロピロピロ...”  
ブザー音

ボイス、ブザー音と同時に、「①ウォーニングランプ」が点滅します。

### 📡 オートディママー&オートミュート機能

レーダーブザーが始まってから約30秒後、又はブザー音が「ピピピピ・・・」になって約15秒後に「①ウォーニングランプ」の光量が半減、ブザー音の音量が小さくなります。＊ステルスの場合はステルス専用アラームが始まってから約10秒後。



**注** ループコイル、LHシステムはレーダー波が出ていないため、レーダーブザーを鳴らす事が出来ません。



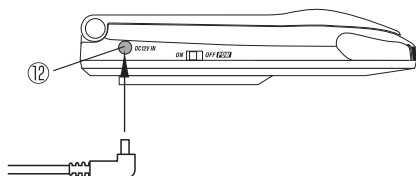
**注** ステルス型速度取締りが行われている場合、レーダー波を一瞬しか発射しないという特性上、事前にレーダーブザーを出す事が出来ない場合があります。ステルス専用アラームが鳴った場合、すでに速度計測されている事がありますのでご注意ください。

# Nシステム

## Nシステム500m圏内GPSボイス機能を使うには

この機能は、DC12V入力（DCコード使用）時のみ機能します。

GPS機能を「ON」にしてください。 ➡（26ページへ）



DCコードのジャックを「⑫DC12Vソケット」へ接続してください。

## NシステムGPSボイスの【ON】【OFF】設定方法

NシステムGPSボイス【ON】【OFF】設定操作は「⑫POWスイッチ」と「⑮L/Nスイッチ」で行います。

1. 「⑮L/Nスイッチ」を押しながら
2. 「⑫POWスイッチ」を「ON」にします。

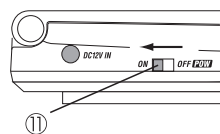
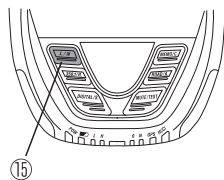
【ON】→【OFF】の時  
"Nシステムを解除しました。"

【OFF】→【ON】の時  
"Nシステムを設定しました。"  
とアナウンスします。

この操作で、NシステムGPSボイスは

【ON】↔【OFF】

と切替ります。



Nシステム

Nシステム500m圏内  
GPSボイス機能を使うには

※工場出荷時はNシステムGPSボイスは【OFF】になっています。

※この機能を使用する場合にはGPS機能は【ON】に設定してください。

※この機能は、Nシステム検知設定状態には関係ありません。



ワン  
ポイント

NシステムGPSボイスはアラームテスト機能で確認することが出来ます。 ➡（52ページへ）

## Nシステムの検知設定方法

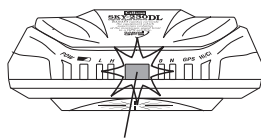
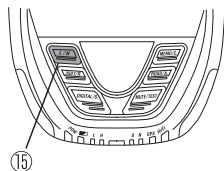
Nシステムの検知設定は「⑮L/Nスイッチ」でNシステム検知感度と、Nシステム検知の【ON】【OFF】を切替えます。

1. 「⑮L/Nスイッチ」を"ピッ"と鳴るまで押し  
ます。(約1秒間)

「⑥フラッシュモニター」で現在の設定  
内容が表示されます。(約3秒間)

2. 「⑥フラッシュモニター」が点灯している間に  
再度、「⑮L/Nスイッチ」を押すことで、Nシ  
ステム検知の【ON】【OFF】と受信感度を設定  
します。

感度が切替ると「⑥フラッシュモニター」の  
点灯色が変わり、約3秒間点灯した後、設定  
内容に応じたボイスをアナウンスして、通常  
動作に戻ります。



「⑥フラッシュモニター」

### ボイス内容と点灯色

設定内容	Nシステム	ボイス	点灯色
	ON (感度Hi)	Nシステムを設定しました。	青色
	ON (感度Lo)	Nシステムを設定しました。	緑色
	OFF	Nシステムを解除しました。	赤色

※工場出荷時、Nシステム検知感度は【Hi】になっています。

※Nシステム検知は、DCコード使用時、コードレスでの使用時、どちらでも検知します。



注  
意

#### ⑮Nシステム検知部



Nシステムを検知するには、本機後部の「⑮Nシステム  
検知部」で、検知させなければいけません。  
検知部の前にNシステムの検知をさえぎる物を置かない  
ように注意してください。

## レーナビの動作 (Nシステム)

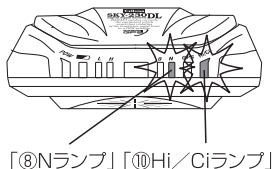
### Nシステム500m 圏内GPSボイス

レーナビ・ソーラーに登録されているNシステムと、現在地を照合してNシステムGPSボイスにてお知らせします。

Nシステム手前、約500mでボイスと「⑧Nランプ」「⑩Hi/Ciランプ」でお知らせします。

"ポーン、500m以内、高速道(一般道)、Nシステムに注意してください。"とアナウンスします。

「⑧Nランプ」「⑩Hi/Ciランプ」  
が約10秒間点滅します。



### Nシステム検知

自動車ナンバー読み取り装置から発信されている赤外線を検知し、Nシステム検知アラームでお知らせします。

Nシステムを検知するとNシステム検知アラームと「⑧Nランプ」でお知らせします。

### ○Nシステム検知アラーム

"ピロリロ、Nシステムを検知しました。"  
ブザー音

「⑧Nランプ」が約5秒間点滅します。



Nシステム

レーナビの動作  
(Nシステム)



**注** Nシステム検知の特性上、Nシステムを通過する直前で、専用アラームが鳴ります。  
**意** あらかじめご了承ください。



**注** Nシステム以外にも他の赤外線ストロボを利用した車両ナンバー記憶システム  
(高速料金所、他)などのシステムにも反応します。  
**意** ※雷光(イナビカリ)、ネオン、太陽光、他の赤外線やイグニッションノイズに反応する  
場合があります。

# 便利機能

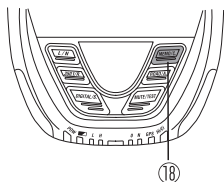
## ユーザーメモリー機能

GPS機能が【ON】になっている時、新規にお知らせしたいポイントを最大30箇所まで、任意に記録することができます。

### 記録操作

ユーザーメモリーの記録は「⑩MEMO/Cスイッチ」で行います。

1. 「⑩MEMO/Cスイッチ」を押します。
2. "ポーン"と音が出て、GPS測位を始めます。
3. GPS測位が確定し、ポイントが記録されると"記録しました。"とアナウンスされます。



※2~3の間、GPS測位が確定できなかった場合は、"GPSを測位できません。"とアナウンスされ、記録できなかった事をお知らせします。

※記録したポイントへのお知らせを行うには、記録ポイントから1500m以上離れるか、一度電源を入れ直す必要があります。(オートパワー機能の動作でも可)

※記録したポイントへのお知らせ時、"記録ポイント"というボイスでお知らせします。



**注意** ユーザーメモリーの記録ポイントは、GPS測位が確定した地点を記録します。走行状況によって、操作したポイントから大きくずれる場合がありますので、ご注意ください。より正確にポイントを記録したい場合には、お車を停車させて記録操作を行ってください。



**注意** ユーザーメモリーに対するお知らせは、取締機とは異なり、道路の上下線を識別せずにお知らせします。



**注意** ユーザーメモリー記録は、GPS信号が受信可能な場合にのみ可能です。高架下や、トンネル内などでは記録できませんので、ご注意ください。



**注意** 記録箇所が記録可能数(最大30箇所)を超えてしまった場合には、記録箇所の中で、最も使用頻度の少ないポイントを削除し、新たなポイントを記録します。



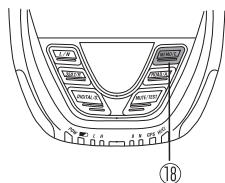
## ✕ ユーザーメモリー消去方法

### ①個別消去

ユーザーメモリーの個別消去は「⑱MEMO/Cスイッチ」で行います。

消去したいユーザーメモリーポイントのGPSボイス中、終了から30秒以内に操作を行います。

「⑱MEMO/Cスイッチ」を  
"消去しました。"とアナウンスする  
まで、約1秒間押します。



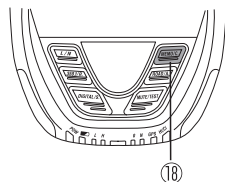
※エリアカット機能が設定されている範囲では、個別消去をすることは出来ません。その場合は、エリアカット機能を消去した後、個別消去を行ってください。

※消去操作が無効の場合(30秒以上経ってしまっている場合など)は、"ピピッ"と音が  
出て、操作無効をお知らせします。

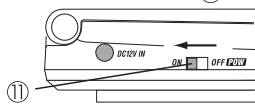
### ②全消去

ユーザーメモリーの全消去は「⑳POWスイッチ」と「⑱MEMO/Cスイッチ」で行います。

1.「⑱MEMO/Cスイッチ」を押しながら



2.「⑳POWスイッチ」を「ON」にします。



3.「記録ポイントに注意してください。」を繰り返してアナウンスして、ユーザーポイント全削除モードに入ったことをお知らせします。

4.再度、「⑱MEMO/Cスイッチ」を"消去しました。"とアナウンスするまで  
押します。(約1秒間)

5.自動的に通常動作へ戻ります。



注意

ユーザーポイント全削除モードに入った後10秒間スイッチ操作が無い場合はその操作は無効となり、通常動作へ戻ります。  
ユーザーポイントは一度消去すると、ポイントデータを復元させる事はできません。消去操作は十分に注意して行ってください。

便利機能

ユーザーメモリー機能

消去

## GPSボイスポイント消去機能

GPSボイスが不要な場合、本機に登録済みのポイントを消去することができます。この機能を利用すると、通勤など頻繁に通る道路、近隣の買い物などの際に、不要なGPSボイスを出さないようにすることができます。

### ✕ GPSボイスポイントの消去方法

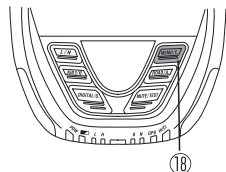
GPSボイスポイントの消去は「⑩MEMO/Cスイッチ」で行います。

消去したいGPSボイスポイントの4ステップGPSボイス中、終了から30秒以内に操作を行います。

1. 「⑩MEMO/Cスイッチ」を"消去しました。"とアナウンスするまで、約1秒間押します。
2. 自動的に通常動作へ戻ります。

※NシステムのGPSボイスポイントに対して、この機能は使用できません。

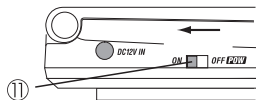
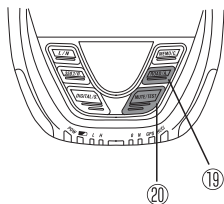
※消去操作が無効の場合（終了30秒以上経ってしまっている場合など）は、"ビビッ"と音が出て、操作無効をお知らせします。



### ✕ 消去したGPSボイスポイントの復帰方法

消去したGPSボイスポイントの復帰は「⑪POWスイッチ」と「⑳MUTE/TESTスイッチ」「㉑ROAD/Aスイッチ」で行います。

1. 「⑳MUTE/TESTスイッチ」と「㉑ROAD/Aスイッチ」を押しながら
2. 「⑪POWスイッチ」を「ON」にします。
3. "オービスに注意してください。"を繰り返しアナウンスして、GPSボイスポイントの復帰モードに入ったことをお知らせします。
4. 再度、「⑳MUTE/TESTスイッチ」を"消去しました"とアナウンスするまで押します。（約1秒間）
5. 通常動作へ戻ります。



※GPSボイスポイントの復帰は全ポイントの一括復帰となります。ポイントごとの復帰は出来ませんのでご注意ください。

※GPSボイスポイントの復帰モードに入った後10秒間スイッチ操作が無い場合はその操作は無効となり、通常動作へ戻ります。

## エリアカット機能

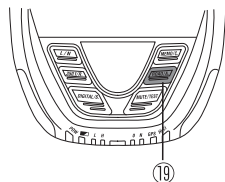
GPS機能が【ON】になっている時、GPSボイスを半径10Km圏内で、一括して消去することができます。

この機能を利用すると、通勤など頻繁に通る道路、近隣での買い物などの際に、不要なGPSボイスを出さないようにする事ができます。

### ✂ エリアカットの記録、消去方法

エリアカットの記録、消去は「⑱ROAD/Aスイッチ」で行います。

1. 「⑱ROAD/Aスイッチ」を  
"ポーン"と音が出るまで(約7秒間)  
押します。(記録、消去共に同じ操作)
2. GPS測位を始めます。
- 3-1. GPS測位が確定し、エリアが記録されると、  
"エリアカットを記録しました。"とアナ  
ウンスします。
- 3-2. すでにエリアが記録されている場合には  
消去操作となり、"エリアカットを消去しまし  
た。"とアナウンスします。



※2~3の間、GPS測位が確定できなかった場合は、"エリアカットを記録できま  
せん"とアナウンスされ、記録できなかった事をお知らせします。

※すでにエリアカットが記録してある場所を消去したい場合、エリアカット内外  
問わず、1~3の操作を行うことで、エリアカットが記録してある場所を消去する  
ことができます。

### ✂ エリアカット内を走行すると

④エリアカット内に入った時、ボイスでお知らせします。

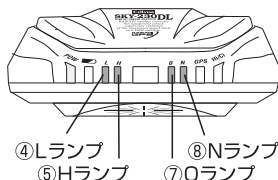
"ポーン、エリアカットを設定しました。"

⑤エリアカット内を走行中

「④Lランプ」「⑤Hランプ」「⑦Oランプ」  
「⑧Nランプ」の4つのランプが同時に  
点滅します。

⑥エリアカット内から出た時、ボイスで  
お知らせします。

"ポーン、エリアカットを解除しました。"



注 意 新しいエリアカットを記録させたい場合には、一度データを消去した後、再度  
操作を行って、新しいエリアカットを記録させてください。

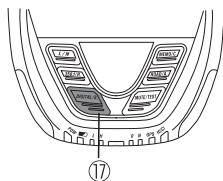
## 📍 1キロ圏内サーチ機能

現在地から半径1キロ圏内に、GPSボイスポイント（Nシステムは除く）があるかどうか、サーチすることができます。

1. 「⑰DIGITAL/Sスイッチ」を  
"ポーン、サーチします。"とアナウンス  
されるまで押します。（約1秒間）

2. サーチ結果をアナウンスします。

※現在地から最も近いポイントを  
一箇所のみ、お知らせします。



## ✂ サーチ結果

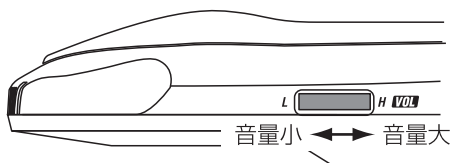
ポイントがあった場合	"ポーン、1キロ <sup>※1</sup> （500m）以内、高速道 <sup>※2</sup> （一般道） [取締機種別] <sup>※3</sup> に注意してください。"
ポイントが無かった場合	"ピピッ"
GPS測位ができない場合	"GPSを測位できません。"

※1:GPSボイスポイントが約500m以内にあった場合。 ※2:一般道に設置されている場合。

※3:NHシステム、LHシステム、ループコイル、新Hシステム、オービス、記録ポイント。

## 📍 音量の調整

「⑱音量ボリューム」を使用し  
音量を調整して下さい。



※音量調整時、アラームテスト機能を利用して、音を出しながら行う事をお勧めします。

アラームテスト機能 ➡ (52ページへ)

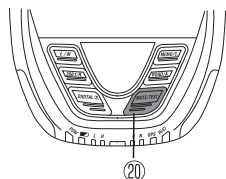
## 🌀 アラームミュート機能

レーダー波を受信している時に、レーダーブザーをミュート（消音）する事ができます。

### ミュート方法

アラームミュートは「**⑳MUTE/TESTスイッチ**」で行います。

- 1.レーダーブザー中に「**⑳MUTE/TESTスイッチ**」を押します。
- 2.レーダーブザーが止まります。  
※「**①ウォーニングランプ**」は点滅しています。



- ※レーダーブザーのミュート中にこの操作を行うと、再度レーダーブザーが鳴ります。
- ※レーダーブザーをミュートした後、新たにレーダー波を受信すると、通常通りレーダーブザーが鳴ります。

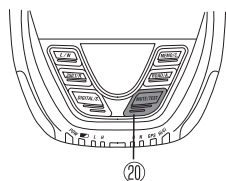
## 🌀 カーロケミュート機能

カーロケボイス中に、カーロケボイスをミュート（消音）する事ができます。キャンセル操作をすると、約2分間カーロケブザー電波の受信が無くなるまでキャンセルします。

### ミュート方法

カーロケミュートは「**⑳MUTE/TESTスイッチ**」で行います。

- 1.カーロケボイス中に「**⑳MUTE/TESTスイッチ**」を押します。
- 2.カーロケボイスが止まります。  
※「**⑥フラッシュモニター**」は点滅しています。



- ※カーロケボイスのミュート中にこの操作を行うと、再度カーロケボイスが鳴ります。

## アラームテスト機能

本機で使用するボイス、ブザー、各種ランプのテストを行う事が出来ます。

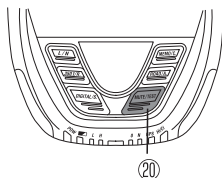
### アラームテスト操作方法

アラームテストは「⑩MUTE/TESTスイッチ」で行います。

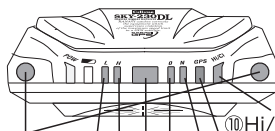
※GPSボイス、レーダーブザー動作中は、アラームテストが出来ません。

1.「⑩MUTE/TESTスイッチ」を押します。

テストが始まります。



- GPS測位ボイス
- 4ステップGPSボイス
- 回避ボイス
- デジタル無線ボイス
- Nシステム検知アラーム
- カーロケボイス
- 350.1MHzボイス
- Nシステム500m圏内GPSボイス
- ステルスアラーム  
(ブザー音のみ)



- ①ウォーニングランプ
- ④Lランプ
- ⑤Hランプ
- ⑥フラッシュモニター
- ⑦Oランプ
- ⑧Nランプ
- ⑨GPSランプ
- ⑩Hi/Ciランプ

ボイスなどが鳴っている時、その動作時と同様にランプが点滅します。

GPS測位ボイス時、「⑩Hi/Ciランプ」が点滅して、動作モードの設定状態を表示します。また、DCコード接続時には、「⑧Nランプ」でNシステムGPSボイスの設定状態を表示します。

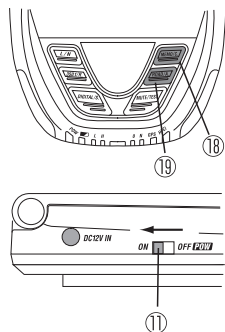
「⑩Hi/Ciランプ」	赤色点滅	ベーシックモード
	緑色点滅	フルモード
「⑧Nランプ」	点滅	Nシステム GPSボイス ON
	消灯	Nシステム GPSボイス OFF

## 🔄 本機の全リセット

この操作を行うと、各種設定、登録、記録内容は全て消去され、工場出荷状態に戻ります。

本機の全リセットは「⑪POWスイッチ」と「⑱MEMO/Cスイッチ」「⑲ROAD/Aスイッチ」で行います。

1. 「⑱MEMO/Cスイッチ」「⑲ROAD/Aスイッチ」を押しながら
2. 「⑪POWスイッチ」を「ON」にします。
3. "危険です。"を繰り返しアナウンスして、全リセットモードに入ったことをお知らせします。  
"危険です。"を繰り返しアナウンスしている間に再度、「⑱MEMO/Cスイッチ」か「⑲ROAD/Aスイッチ」を"消去しました"とアナウンスするまで(約1秒間)押します。
4. 通常動作へ戻ります。



### 工場出荷状態

- GPS機能……………ON
- 動作モード……………ベーシックモード
- NシステムGPSボイス……………OFF
- GPSボイス対象道路……………All
- レーダー受信感度……………エクストラ
- Nシステム検知設定……………ON
- Nシステム検知感度……………Hi
- D.S.C.機能……………ON
- カーロケーター……………ON
- カーロケーター受信感度……………Hi
- 350.1MHz無線……………ON
- デジタル無線……………ON
- デジタル無線3倍速サーチ…ON
- その他記録データ……………消去

便利機能

本機の全リセット



**注  
意**

全リセットモードに入った後10秒間スイッチ操作が無い場合は、その操作は無効となり、通常動作へ戻ります。

## 故障かな?と思ったら

修理をご依頼される前に、もう1度次のことをご確認してください。

症 状	チェック内容	参照ページ
電源が入らない	D.S.C.機能は正しく設定されていますか	30,31,32
	コードレス使用の時 内蔵バッテリーの残量はありますか	23
	DCコード使用時 DC12Vは入力されていますか	23
電源が切れない	オートパワー機能は「ON」になっていますか	32
充電されない	DCコード使用時 DC12Vは入力されていますか	23
	コードレス使用時 ソーラーパネルに太陽光が正しく当たっていますか	18,22
	サンバイザーへ取付けていますか	18,22
GPS信号を受信しない	GPS機能は「ON」になっていますか	26
	GPS信号は受信可能ですか	18
	DCコードを使用して、充電しながらGPS測位して下さい	57
	コードレス使用の時 内蔵バッテリーの残量はありますか	23
GPSボイスがない	GPS機能は「ON」になっていますか	26
	GPS信号は受信可能ですか	18
	新設の取締機、Nシステムの可能性があります	61
	GPSボイス対象道路の設定は正しいですか	28
	エリアカット機能は設定されていませんか	41,49



症 状	チェック内容	参照ページ
何も無いのにレーダーブザーが鳴る	<p>速度取締機と同じ電波が他の機器でも使用されています。その場合、レーダーブザーを出す場合があります。これは故障ではありませんのであらかじめご了承ください。</p> <p>同じ電波を使用している機器例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自動ドアの一部</li> <li>・車両通過計測器</li> <li>・NTTの通信回線の一部</li> <li>・気象用、航空機用などのレーダーの一部</li> </ul>	
NシステムのGPSボイスが出ない	NシステムGPSボイスは「ON」になっていますか	43
	DC12Vは入力されていますか	43
Nシステムを検知しない	Nシステムの検知機能は「ON」になっていますか	44
	Nシステムを検知可能ですか	44
ユーザーメモリー記録ポイントをお知らせしない	ポイントを記録後、必要な項目は行いましたか	46
D.S.C.機能が働かない	D.S.C.機能の設定は正しいですか	30,31,32
	内蔵ムービングセンサーの設定は正しいですか	31
デジタル無線を受信しない	<p>受信設定が「OFF」になっていませんか</p> <p>デジタル無線の電波は常に発信されてはいません。デジタル無線の電波が発信されている場合にのみ受信が可能です。</p>	35

次ページへつづく

故障かな？と思ったら

症 状	チェック内容	参照ページ
350.1MHz無線を受信しない	受信設定が「OFF」になっていませんか  350.1MHz無線は常に使用されているわけではありません。取締りなどで使用されている場合にのみ受信が可能です。	34
350.1MHz無線を受信しても、音声が聞こえない	デジタル交信の可能性があります。  デジタル交信の場合、音声を聞く事は出来ません。  350.1MHz無線の受信電波が弱いと、音声が聞こえない場合があります。	5  5
カーロケーターを受信しない	受信設定が「OFF」になっていませんか  カーロケーターシステムは車両から常に電波を出しているわけではありません。緊急車両の接近があっても受信できない場合があります。  カーロケーターシステムを搭載していない車両の可能性があります。	33  5  5

## GPS測位操作について

初めてお使いになる場合や内蔵バッテリー交換後などには、GPS測位が不安定な状態が発生する事があります。(GPS測位に時間がかかる、または測位できない場合が多いなど) その場合には、下記の操作を行ってください。

1. DCコードを接続します。

■詳細▶ 充電方法(22ページへ)

2. お車のエンジンをかける、又はキーをACCの位置にしてレーナビ・ソーラーにDC12Vを入力して下さい。

3. レーナビ・ソーラーの電源を入れてください。

※「③BATランプ」が緑色に点灯していることを確認してください。

■詳細▶ 電源の入れ方、切り方(24ページへ)

4. 「⑩MUTE/TESTスイッチ」を”ピピッ”と鳴るまで(約7秒間)押し続けて、D.S.C.機能を【OFF】にして下さい。

※「②POWランプ」がオレンジ色の点滅になっていることを確認してください。

■詳細▶ D.S.C.機能を使用するには(30ページへ)

5. 「⑨GPSランプ」が消灯するまで、そのままお待ちください。

※15分以上待っても「⑨GPSランプ」が消灯しない場合には、他の場所へ移動するかお車の向きを変える、又は取付け位置を変えてみてください。

6. 「⑨GPSランプ」が消灯したら、DCコードを使用したままの状態でも更に15分以上お待ちください。

※この間、お車を移動したり、レーナビ・ソーラーの電源を切らないでください。

7. D.S.C.機能を、必要に応じて【ON】に戻してください。

※操作方法は、4と同様の操作になります。ブザー音は”ピー”と鳴ります。

■詳細▶ D.S.C.機能を使用するには(30ページへ)

8. 終了です。お疲れ様でした。この後も十分に充電をしてご使用ください。



注  
意

必ず、上空からのGPS信号を受信する事が可能な場所で行って下さい。

## GPS障害について

重要! 車載TVを取り付けていらっしゃる方へ

車内でTV(56ch)にチャンネルを設定していると、本機がGPS信号を受信できなくなる場合があります。

資料 56chを使用している主な放送局

エリア地区	放送局	エリア地区	放送局
北海道 歌志内 静内	NHK総合 NHK総合	長野 岡谷川岸 小海・八千穂	TSB SBC
青森 むつ 今別	ABA ATV	富山 福光 愛知 豊橋	KNB THK
秋田 角館	AAB	岐阜 (関)	(THK)
山形 米沢	TUY	神岡	CBC
福島 白河 柳津・三島	FCT FTV	坂下	NBN
東京 新島	TBS	三重 名張 (北勢)	NBN (THK)
神奈川 横浜 小田原	TBS TBS	志摩	THK
千葉 館山 (佐原)	TBS (TBS)	静岡 (島田)	(NHK総合)
栃木 今市	TBS	本川根	SUT
茨城 日立	TBS	大阪 柏原 岬	ABC ABC
群馬 前橋・伊香保	TBS	京都 京都山科 福知山	ABC KBS
山梨 上野原 山中湖	YBS YBS	兵庫 姫路 城崎	SUN SUN
新潟 相川 相川高千	TeNY BSN	赤穂 西脇 和田山	SUN SUN SUN

※各局の中継局として56chを使用している場合があります。

TVの56チャンネルの受信周波数が、GPS衛星通信に影響を与えるため、TVからGPS受信部へ妨害電波が出ている形になってしまいます。GPS衛星の通信方式では他の電波からの影響を受けないように工夫されていますが、この場合は影響を受けてしまい、測位できない状態になってしまいます。本機と車載TVを併用される場合、十分にお気を付けください。

エリア地区	放送局	エリア地区	放送局
滋賀 彦根	BBC	徳島 山城	JRT
和歌山 田辺 南海 由良	WTV	高知 高知神田	NHK総合
	WTV	福岡 北九州門司	RKB
	WTV	大分 玖珠	OBS
広島 広島五日市 広島高陽 備後府中 大崎・竹原 千代田	NHK総合	国東	NHK総合
	RCC	佐賀 武雄	NHK教育
	NHK総合	長崎 長崎滑石 郷ノ浦 島原	KTN
	NHK総合		NHK教育
岡山 岡山備中高松 津山 (倉敷児島) (井原)	RSK	鹿児島 徳之島 西之表 串木野 末吉 (指宿)	KYT
	TSC		KTS
	(KSB)		NHK教育
	(KSB)		NHK教育
鳥取 倉吉	BSS	沖縄 南大東 多良間 石川	(KKB)
愛媛 北条 宇和	EBC		RBC
	NHK教育		OTV
香川 仁尾 観音寺 (志摩) (白鳥)	RSK	OTV	
	NHK総合		
	(NHK教育)		
	(NHK教育)		

2002年4月現在

※各局の中継局として56chを使用している場合があります。

## アフターサービスについて

### 保証書(別に添付してあります)

保証書は、必ず「販売店名・お買い上げ年月日」などの記入をご確認の上お受け取りになり、保証内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

### 保証期間

お買い上げの日から1年間です。

### 修理を依頼されるとき

「故障かなと思ったら」の点検をしていただいても、なお異常のあるときは、故障状況をなるべく詳しくご連絡ください。

- 保証期間中のとき(保証書に販売店名、日付印がないと無効になります)  
恐れ入りますが、お買い上げの販売店まで、保証書を添えて本機をご持参ください。保証書の規定に従って修理いたします。
- 保証期間が過ぎているとき  
お買い上げの販売店に、まずご相談ください。修理によって機能が持続できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

## データ更新について

レーナビ・ソーラーは速度取締機、Nシステムの最新位置データを使用して製造を行っていますが、新設の速度取締機やNシステムがあった場合、そのデータを反映させた登録データに更新することができます。(有料)データの更新をご希望される場合は、お買い求めになられた販売店、当社カスタマーセンターまでご依頼ください。

データの更新時期は1年2回を目安にしていますので、ご依頼された時の最新の当社作成データを使用し、更新作業後、返却いたします。この場合、工場出荷状態に戻ってしまう場合がありますので、あらかじめご了承ください。

データ更新を依頼される場合  
更新料¥5,000と、消費税、送料が別途かかります。

# 新設速度取締機、Nシステムの 情報提供のお願い。

本機のGPSボイスでお知らせしない新設された速度取締機、Nシステムの情報がありましたら、当社カスタマーセンターまたは、E-mail等でお知らせ頂けますようお願い致します。

## カスタマーセンター

フリーダイヤル 0120-75-6867  
FAX 046-273-1106

E-mail ranavi@cellstar.co.jp  
homepageURL <http://www.cellstar.co.jp>

## お問い合わせ窓口

### ■北海道地区

北海道セルスター工業株式会社 TEL.011-882-1225(代) FAX.011-881-7251  
〒004-0843 札幌市清田区清田三条1-3-1

### ■東北地区

セルスター工業(株) 仙台営業所 TEL.022-218-1100(代) FAX.022-218-1110  
〒981-3117 宮城県仙台市泉区市名坂字原田158

### ■関東地区

セルスター工業(株) 関東営業所 TEL.046-273-1100(代) FAX.046-273-1106  
〒242-0002 神奈川県大和市つきみ野7-17-32

### ■中部・北陸地区

中部セルスター工業株式会社 TEL.0583-70-6325(代) FAX.0583-70-6328  
〒509-0131 岐阜県各務原市つづじが丘8-161-1

### ■関西・中国・四国地区

関西セルスター工業株式会社 TEL.0727-22-1880(代) FAX.0727-22-5575  
〒562-0004 大阪府箕面市牧落3-2-20

### ■九州地区

九州セルスター工業株式会社 TEL.092-552-5252(代) FAX.092-552-5300  
〒811-1347 福岡県福岡市南区野多目1-11-8

### ■セルスター工業株式会社

カスタマーセンター フリーダイヤル 0120-75-6867 TEL 046-275-6867  
〒242-0002 神奈川県大和市つきみ野7-17-32

●名称、所在地、電話番号は変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

## 仕様・定格

### GPS受信部

受信周波数 : 1575.42MHz (L1)、C/Aコード  
受信方式 : 12chパラレル受信  
受信感度 : -132dbm以下

### レーダー受信部

検出方式 : ダブルスーパーヘテロダイン方式  
検出周波数 : Xバンド、Kバンド

### レーシーバー部

受信周波数 : 159MHz帯~160MHz帯 (約50チャンネル)  
350.1MHz  
407MHz帯

受信方式 : ダブルスーパーヘテロダイン方式

### その他

受光回路 : Nシステム (赤外線)

### 本体

内蔵バッテリー容量 : 400mAh

電源電圧 : DC3.6V 内蔵バッテリー  
DC12V DCコード

動作温度範囲 : -10℃~+65℃

待機電流 : 15mA以下

本体サイズ・重量 : 78 (W) × 115 (D) × 36 (H) mm 169g

※改良の為、本機の仕様・定格などを変更する場合がございますので、あらかじめご了承ください。

## 付属品

DCコード×1、サンバイザークリップ×1、サンバイザー保護シール×1

マウントベース×1、ウインドウ取付金具×1、補助プレート×1

吸盤 (フロントガラス取付用) 大×2、小×1

両面テープ (ダッシュボード取付用) ×1

取扱説明書 (本書) ×1部

保証書×1部

※ご使用前に、ご確認ください。

製造総発売元

日本自動車部品工業会会員 <http://www.cellstar.co.jp>

**CELLSTAR**

**セルスター工業株式会社**

本社 / 〒242-0002 神奈川県大和市つきみ野7-17-32 TEL.046-273-1100(代) FAX.046-273-1106

PP-D210MN-B 2003.09